

滝沢市地域医療に関する現況調査
(市民・医療機関向け調査)
調査結果報告書

令和7年3月

滝沢市

目 次

＜第 1 章＞ 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象、調査方法、実施時期	1
3	回答状況	2
4	報告書の表記及び注意点について	2

＜第 2 章＞ 地域医療に関する市民アンケート調査結果

1	医療機関受診動向	3
	受診回数／最もよく受診した診療科／最もよく受診した医療機関のある地域／主 な受診医療機関の選択理由／ 医療機関への主な移動手段／ 最もよく利用する医 療機関への所要時間	
2	医療環境に関する市民の意識	8
	かかりつけ医の有無／かかりつけ医への期待／ 救急、夜間休日相談・受診先／ 休日に受診する場合の対応／休日に受診する場合の医療機関の場所／子ども（ 乳幼児から中学生まで）が主に受診した医療機関の場所／高度な医療を受ける場 合、希望する入院先の医療機関の場所／ 回復期、リハビリの際の入院・通院先 医療機関の場所	
3	介護、看取り、終末期について	12
	介護や看取りの経験／自宅介護・看護で不安を感じたこと等／終末期を迎える際 に望ましい場所	
4	滝沢市の医療に対する満足度、望まれる診療科目、医療体制等について	13
	滝沢市の医療に対する総合的な満足度／自宅から通える範囲内の医療に対する総 合的な満足度／滝沢市内で充実して欲しい診療科／将来の滝沢市内の医療に対す る不安の度合い／将来の滝沢市内の医療で不安を感じる事／滝沢市が今後目指 すべき地域医療体制／今後の滝沢市内の医療に必要な対策／今後の地域医療の在 り方に対する意見（自由記述）	

＜第 3 章＞ 市内医療機関との意見交換等の結果

1	面談による意見交換	18
	地域医療支援病院（基幹病院、総合病院）について／夜間・休日診療について／ 各医療機関個別の課題／滝沢市の現在の医療課題／滝沢市の今後の医療の方向性 についての見解／滝沢市が取り組む将来の地域医療への意見、要望／医療従事者 の人材確保について	
2	経営環境について	22
	医療従事者の年代別分布／抱える課題／経営環境	

3	今後の診療方法の拡充について	23
	診療の実施状況と診療項目の追加予定／今後診療項目を追加しない理由	
4	今後の滝沢市の地域医療について	24
	地域医療の将来像を検討している市への意見／滝沢市における医療テーマ／滝沢市の初期救急体制の充実度／盛岡保健医療圏の二次救急体制の評価／他市町村への患者の流出について／患者の流出についての考え／診療科の偏りや有床病院の偏在／今後の経営継続意向／基幹病院開業の影響／基幹病院新設のメリット・デメリット／医療体制に関する市への期待	

＜第4章＞ 調査結果から見える本市の地域医療の現況

1	市民アンケート調査結果から見える市民の行動・考え	30
	医療機関受診動向／医療環境に関する市民の意識／介護、看取り、終末期について／滝沢市の医療に対する満足度、望まれる診療や医療体制	
2	市内医療機関との意見交換、書面調査結果から見える考え等	33
	市内医療機関の現況／今後の滝沢市の地域医療に対する考え	

＜資料編＞

市民アンケート調査結果単純集計表	36
----------------------------	----

第1章 調査の概要

1 調査の目的

滝沢市では、「すこやかで、心豊かに、自分らしく暮らすことができる」環境づくりの推進に向け、社会環境の質の向上等を通じて、子どもから高齢者まで全ての市民が生涯にわたり健康な生活を送ることができるよう取組を進めています。

その一環として、今後の市の健康増進施策や地域医療の在り方を検討するための参考とするため、本市における地域医療の現状を調査することとし、滝沢市民へのアンケート調査と、市内医療機関との意見交換等を実施しました。

市民や地域の医療従事者の皆様から伺った地域医療の現状に関して分析を加えるとともに、将来の滝沢市の医療の在り方等に対する意見を踏まえ、滝沢市の現在から未来に渡る医療ニーズを把握し、よりよい環境づくりに役立てるための実施するものです。

調査に御協力いただきました市民の皆様、市内医療機関の皆様におかれましては、御多忙の折、協力くださいましたことにこの場をお借りして御礼申し上げます。

2 調査の対象、調査方法、実施時期

(1) 滝沢市民の医療に関する意識調査

- ア 調査対象：滝沢市に在住する満18歳以上90歳未満の個人 2,300人
- イ 調査方法：郵送による配布・回収（Web上での回答も可能とした。）
- ウ 実施時期：令和6年9月5日から同年9月27日まで

(2) 滝沢市内医療機関との意見交換

- ア 対象機関：令和6年7月末日現在、本市で営業している19医療機関

＜病院／診療所＞ (敬称略／50音順)

1	滝沢中央病院	滝沢市鵜飼笹森 42-2
2	栃内第二病院	滝沢市大釜吉水 103-1
3	あべ整形外科医院	滝沢市巣子 1156-22
4	飯島医院	滝沢市鵜飼狐洞 1-277
5	植田内科消化器科医院	滝沢市穴口 183-3
6	鵜飼こどもクリニック	滝沢市鵜飼御庭田 65-2

7	金井耳鼻咽喉科クリニック	滝沢市狼久保 689-5
8	かなもり神経科内科クリニック	滝沢市高屋敷平 11-39
9	木村内科クリニック	滝沢市土沢 310-102
10	こんの神経内科・脳神経外科クリニック	滝沢市牧野林 1010-4
11	サマリヤ眼科クリニック	滝沢市巣子 1155-8
12	杉江内科クリニック	滝沢市野沢 62-1017
13	巣子こどもクリニック	滝沢市狼久保 688-1
14	高橋内科胃腸科クリニック	滝沢市巣子 1186-14
15	立本整形外科いたみのクリニック	滝沢市穴口 325-7
16	土井尻医院	滝沢市大釜竹鼻 163-15
17	松尾皮膚科	滝沢市牧野林 1010-11
18	山口クリニック	滝沢市穴口 377-1
19	ゆとりが丘クリニック	滝沢市土沢 541

イ 調査方法：全医療機関に向けて、訪問・対面による意見交換の実施を依頼。対面による意見交換の実施が難しい場合には、書面により質問事項への回答を依頼する方式。

ウ 実施時期：令和6年11月から令和7年1月までの間

3 回答状況

区 分	配布数	有効回答数	有効回答率
市民向けアンケート調査	2, 300件	937件	40.7%
市内医療機関との意見交換	19件	18件 (うち対面による意見交換5件)	94.7%

4 報告書の表記及び注意点について

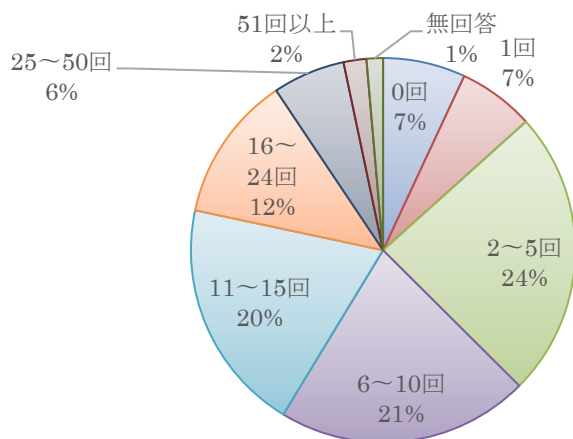
- ・回答は、数値（人数）または各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示しています。小数点以下第1位を四捨五入しているため、比率の合計が100％にならない場合があります。
- ・複数回答を求めている回答項目については、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、回答比率の合計は100％を超えます。
- ・説明文及びグラフで、選択肢の語句を一部簡略化し記載しています。
- ・グラフでは、その設問に対して回答することのできる対象者又は該当者数を「n」と表記し、その数を表記しています。

第2章 地域医療に関する市民アンケート調査結果

1 医療機関受診動向

(1-1) 受診回数（全体）

問1 あなたは、最近1年間で何回医療機関を受診しましたか。【1つ選択】

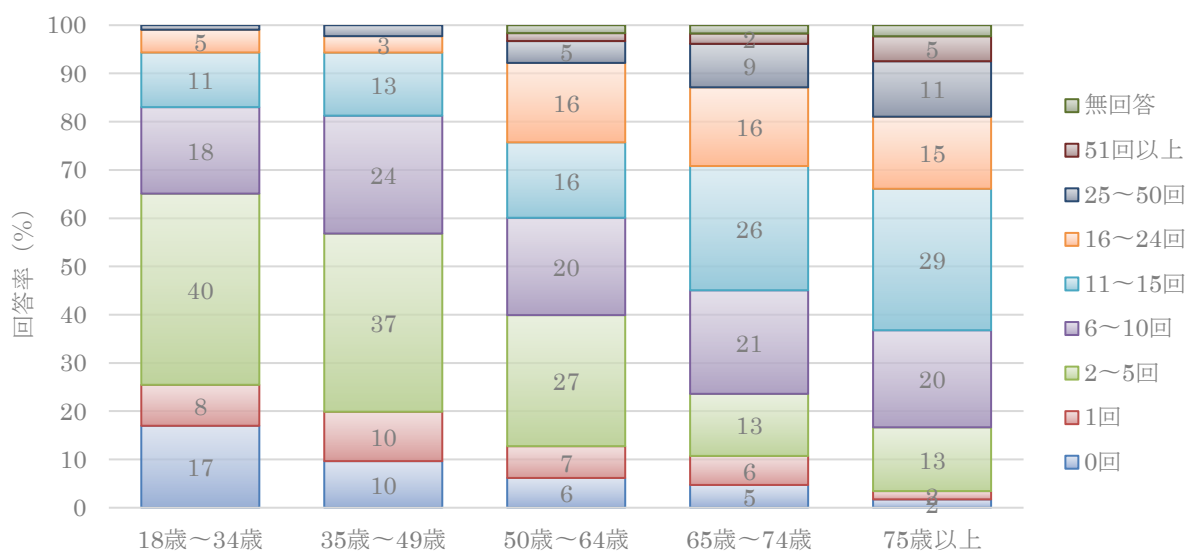


n=937

回答者全体の受診回数は2回から5回が最も多く、2回から24回（隔月ないし月1、2回程度）と回答した方が77%を占めています。一方、25回以上（月平均2回以上）と回答した方も8%いました。

(1-2) 受診回数（世代別）

問1 あなたは、最近1年間で何回医療機関を受診しましたか。【1つ選択】

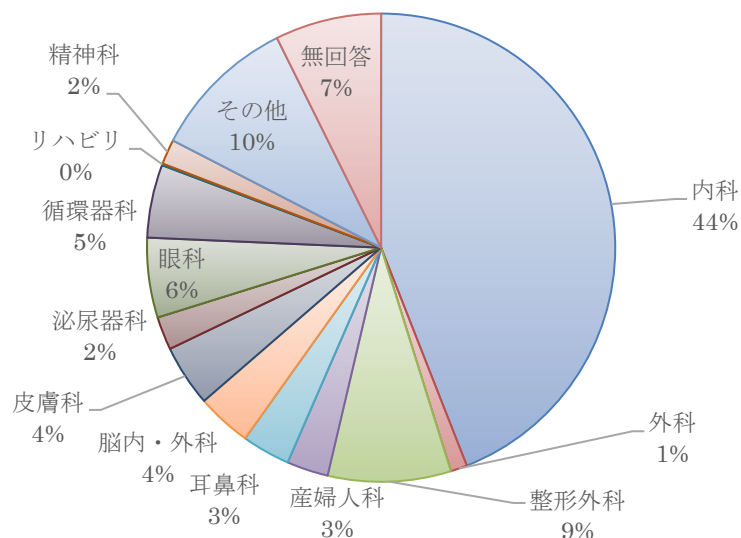


n=937

18歳から64歳までは、年間2回から5回の受診がピークになっていますが、65歳以上では11回から15回が最も多くなっています。また、16回以上の受診は、50歳以上が多数を占め、高齢者（65歳以上）の医療ニーズが高いことが示されました。

(2-1) 最もよく受診した診療科（全体）

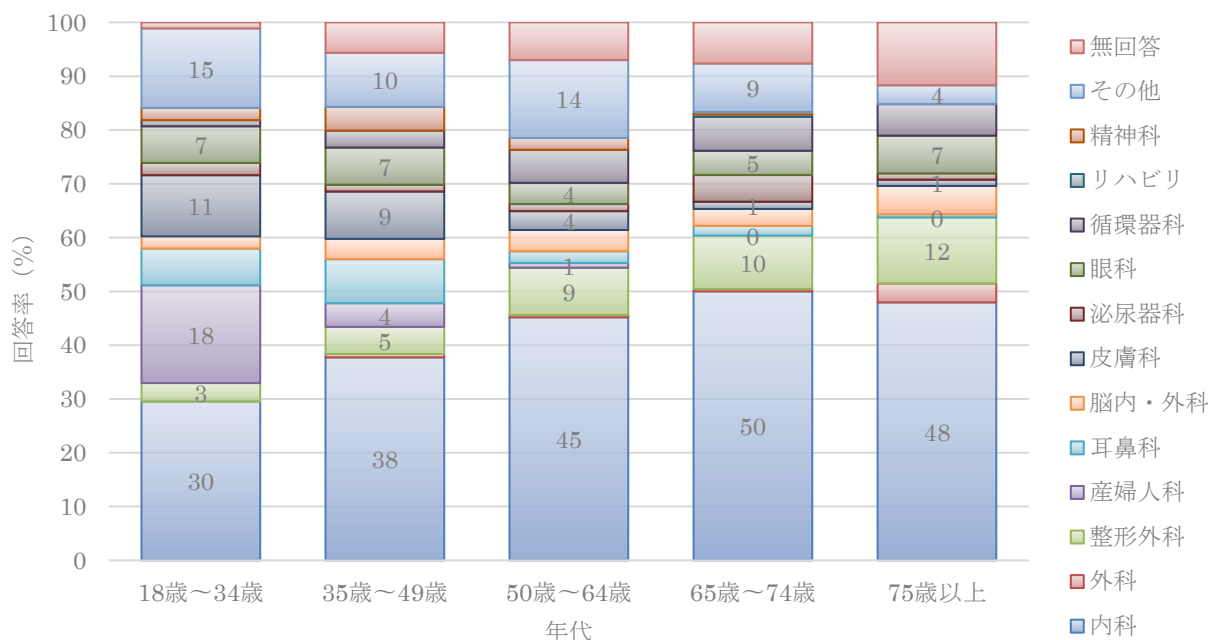
問2 あなたが、最近1年間で最もよく受診した診療科は何ですか。【1つ選択】



内科が44%と最も多く、整形外科(9%)、眼科(6%)、循環器科(5%)と続きます。一方で、リハビリは、1%未満となっています。

(2-2) 最もよく受診した診療科（世代別）

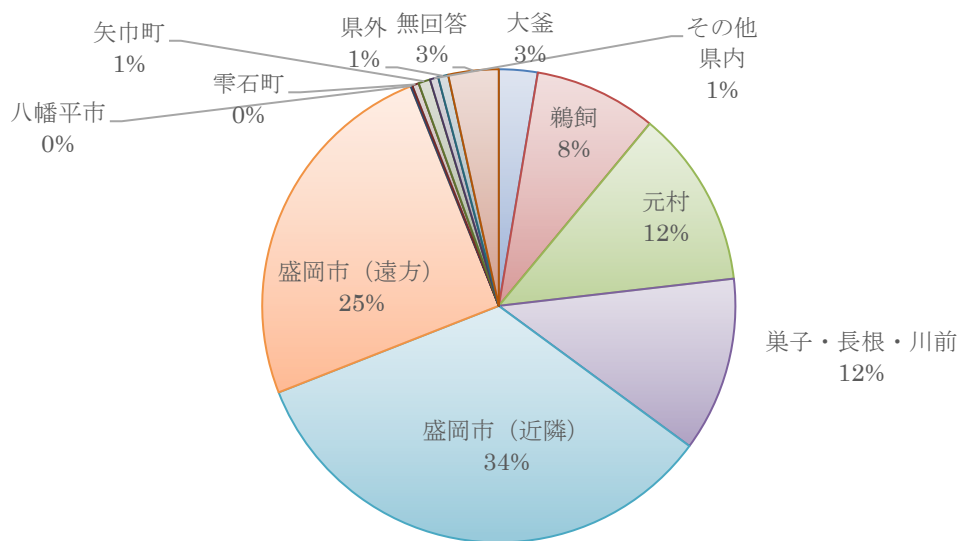
問2 あなたが、最近1年間で最もよく受診した診療科は何ですか。【1つ選択】



内科受診は全ての世代で多くなっていますが、年齢が高くなるにつれて受診率が高まる傾向があります。整形外科や循環器科も年齢の高まりとともに増えており、特に50歳以上で多い傾向があります。反対に、産婦人科、眼科や耳鼻科は若い世代の割合が高い傾向があります。

（３－１）最もよく受診した医療機関のある地域（全体）

問３ あなたが、最近１年間で最もよく受診した医療機関はどの地域にある医療機関ですか。【１つ選択】

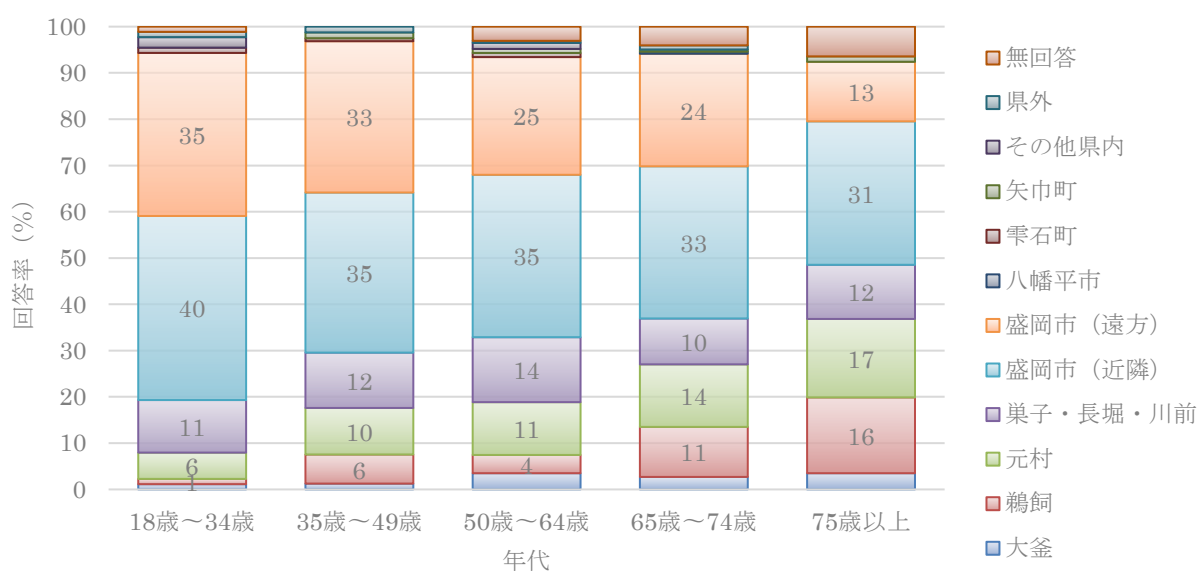


n=872

最もよく受診した地域は、盛岡市が５９％（滝沢市近隣３４％、それ以外２５％）と過半数を占め、滝沢市以外で受診した人の割合が合計で６２％となっており、滝沢市内の受診と答えた方の割合は、３５％にとどまっています（無回答３％）。

（３－２）最もよく受診した医療機関のある地域（世代別）

問３ あなたが、最近１年間で最もよく受診した医療機関はどの地域にある医療機関ですか。【１つ選択】

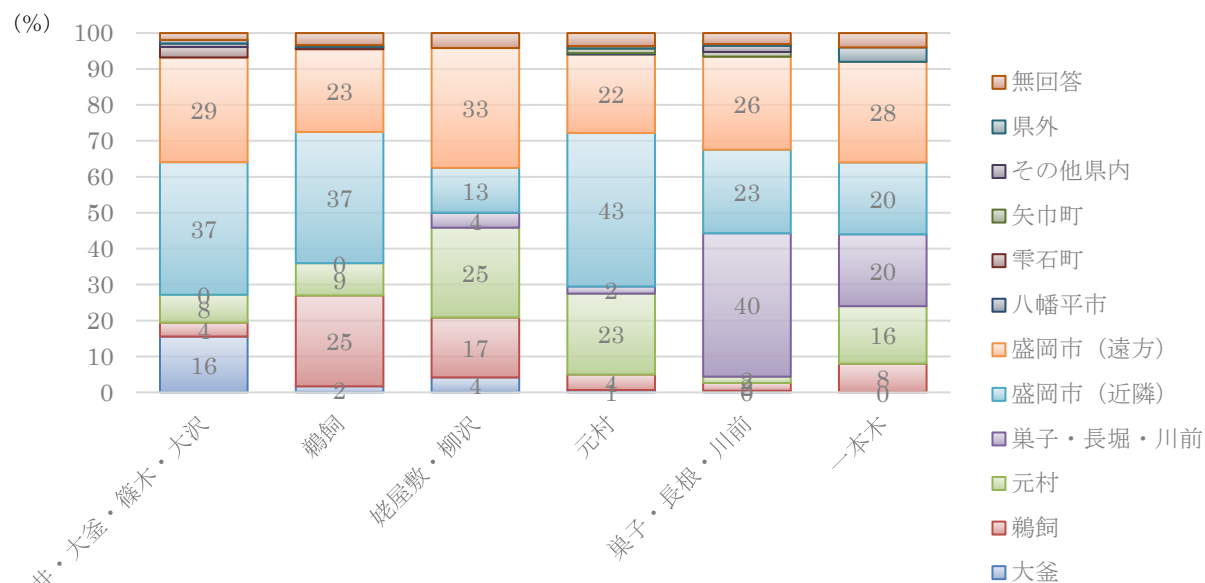


n=872

受診した地域は、年齢層にかかわらず盛岡市内（滝沢市近隣、それ以外いずれも）が最も多い傾向がありますが、高齢者では盛岡市の遠方が減り、滝沢市内の受診率が高くなる傾向があります。

(3-3) 最もよく受診した医療機関のある地域（地域別）

問3 あなたが、最近1年間で最もよく受診した医療機関はどの地域にある医療機関ですか。【1つ選択】

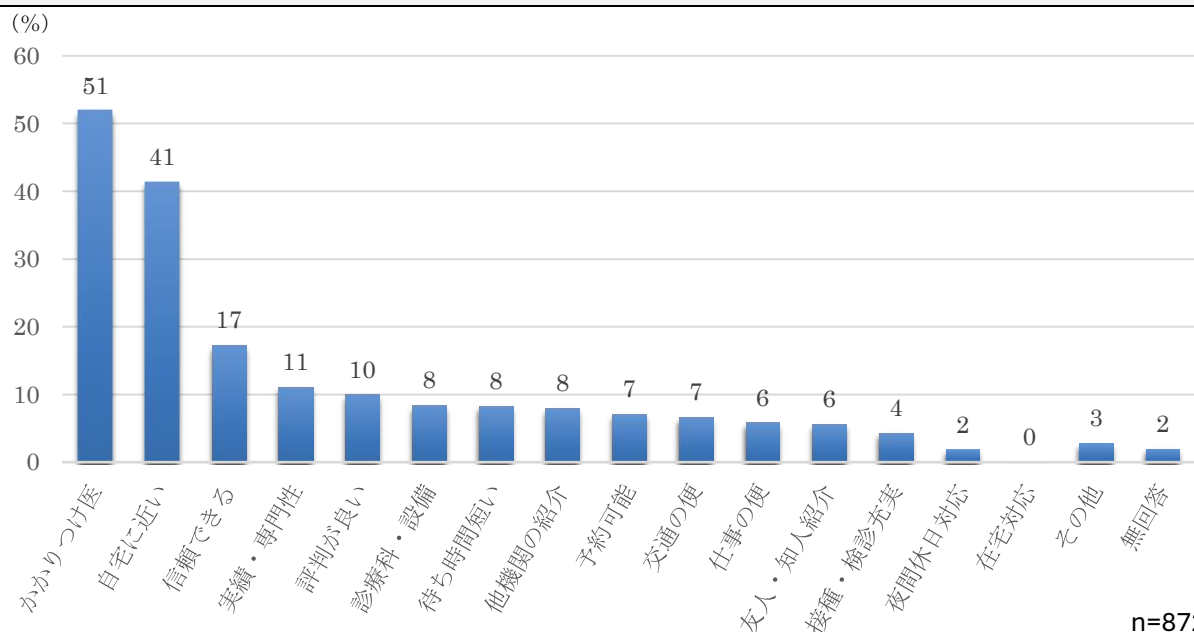


n=872

回答者の居住地域ごとに集計すると、受診した地域は、一本木を除いてそれぞれの居住地の近くが多い傾向にある一方で、巣子・長根・川前地域以外では、盛岡市内の医療機関での受診が最も多くなっています。

(4) 主な受診医療機関の選択理由

問4 問3で回答した医療機関を選ばれた理由は何ですか。【3つまで選択可能】

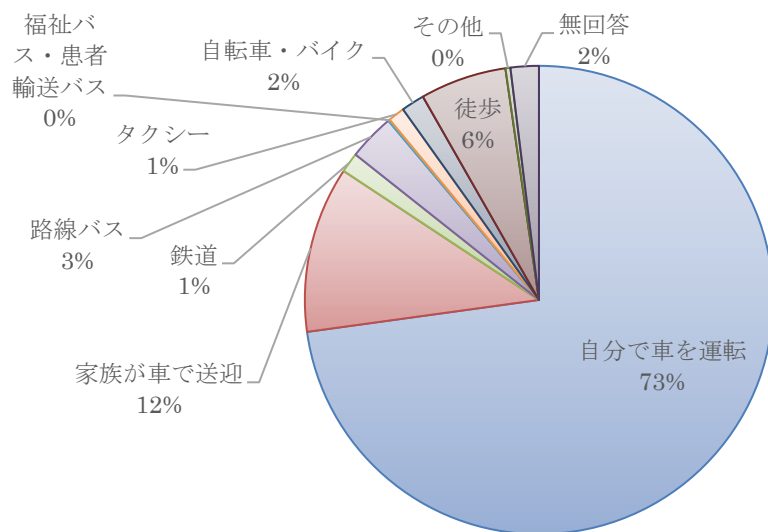


n=872

主な受診機関の選択理由は、「かかりつけ医だから」が51%、「自宅に近い」が41%と半数近くを占めた一方で、残りの約半数弱が信頼、設備、診療科、夜間休日対応、紹介、評判、接種、実績や専門性、予約可能、待ち時間といった医療機関の優越性や信用度などを重視している傾向が伺えます。

（５）医療機関への主な移動手段

問５ 問３で回答した医療機関への主な交通手段は何ですか。【１つ選択】

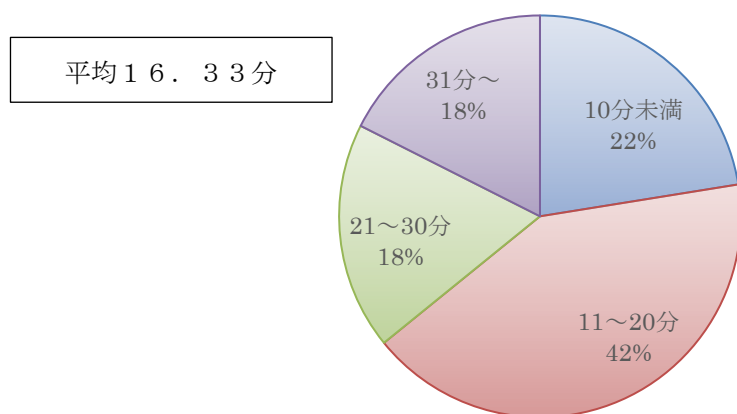


n=872

最もよく受診した医療機関への交通手段は、自家用車を自分で運転するが73%と最も多く、次いで、自家用車を家族が運転し送迎が12%となっており、85%の方が自家用車を使っています。一方、路線バスを使う方の割合は3%、鉄道は1%と低く、福祉バス・患者輸送バスの利用は1%未満にとどまっています。

（６）最もよく利用する医療機関への所要時間

問６ 問３で回答した医療機関について、自宅または職場のうち近い方からその医療機関までの移動に要する所要時間を教えてください【分単位で記載】



平均 16.33分

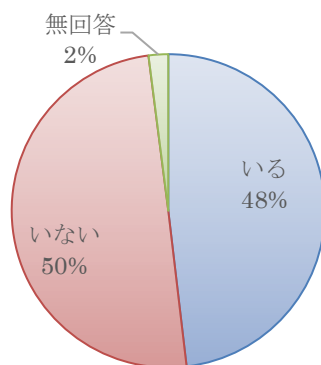
n=837

盛岡市など滝沢市外の医療機関で受診する人が60%を超えていましたが、医療機関への所要時間は平均で約16.33分でした。一方、31分以上かかるケースが18%となっています。通院の多くで往復所要時間が1時間以内となっていることが予想されます。

2 医療環境に関する市民の意識

(1) かかりつけ医の有無

問7 あなたには、あなたの心身の状態がわかっていて、治療だけでなく日常の健康管理や相談もできる医師（かかりつけ医）がいますか。【1つ選択】

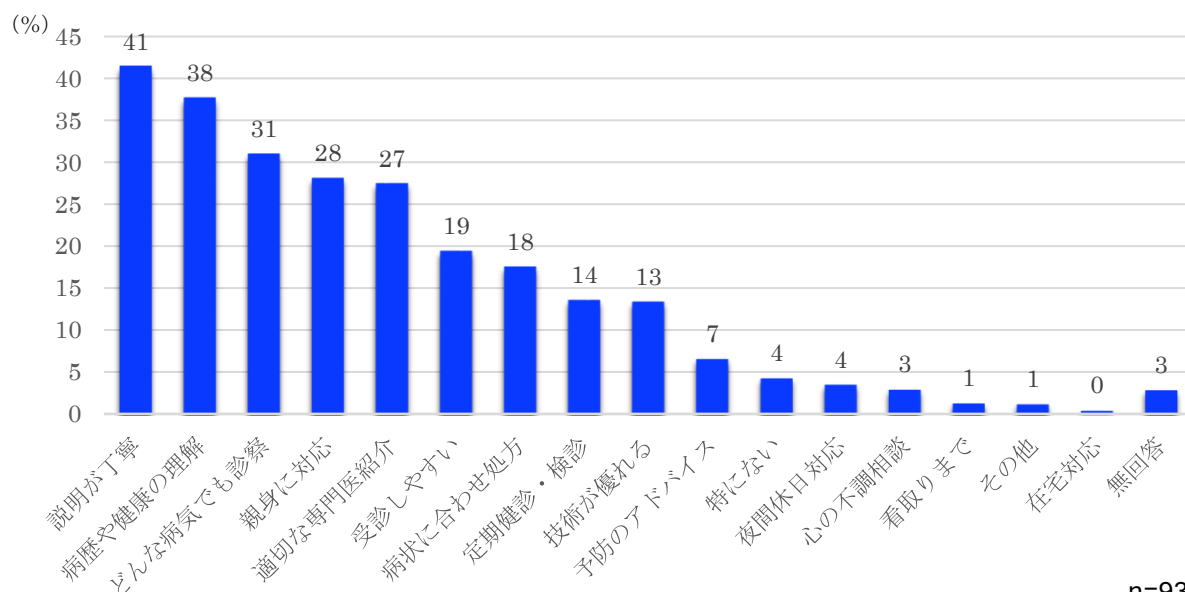


n=937

かかりつけ医がいないと回答した方が50%であり、半数の方が特定のかかりつけ医を持たない現状を示しています。

(2) かかりつけ医への期待

問8 あなたは、かかりつけ医にどのようなことを期待しますか。【3つまで選択可能】

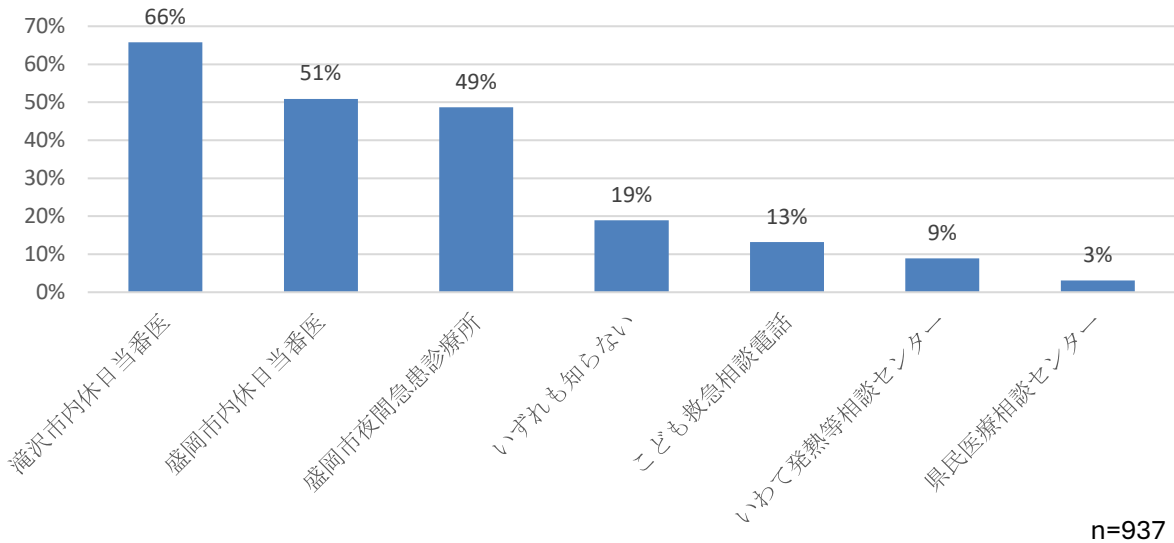


n=937

自分の病歴や健康状態の理解(38%)、どんな病気でも診察してくれる(31%)、適切な専門医の紹介(27%)、病状に合わせた処方(18%)、診療技術が優れている(13%)など、自身の健康状態をよく理解して、適切に対応してくれる、かかりつけ医を求めている傾向が伺えます。また、説明が丁寧(41%)、親身に対応(28%)、受診しやすい(19%)、定期検診、健診が受けられる(14%)など、信頼できて、かつ、いつでも受診しやすい医療に期待している傾向も伺えます。

(3) 救急、夜間休日相談、受診先

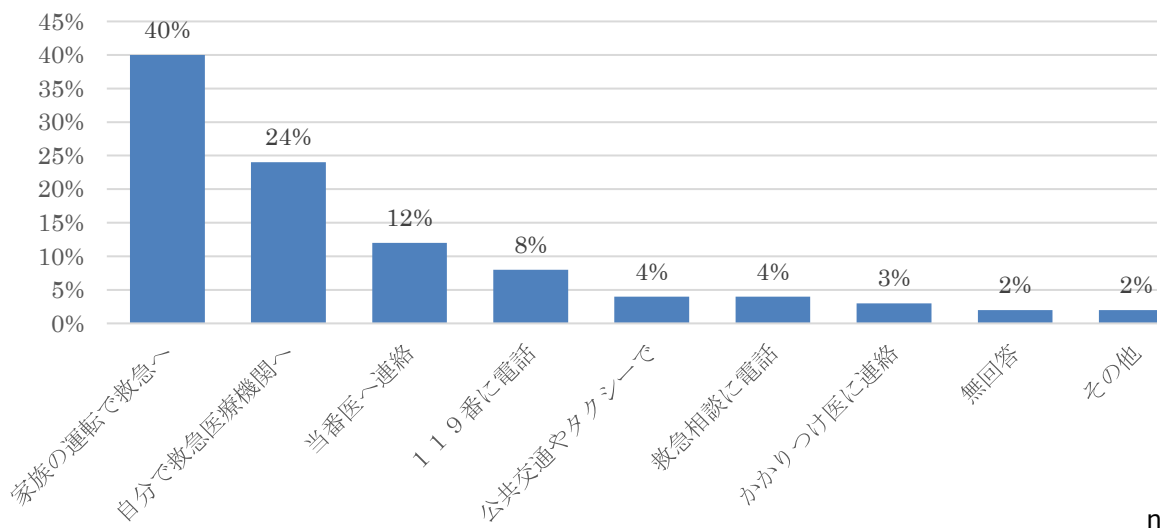
問 9 次の救急相談・受診先のうち知っているものを教えてください。【知っているもの全て又はいずれも知らないを選択】



最も認知度が高い項目は滝沢市内休日当番医(66%)であり、盛岡市内休日当番医は51%でした。また、盛岡市夜間急患診療所の認知度は49%でした。それらに対し、その他の項目(こども救急相談電話、いわて発熱等相談センター、県民医療相談センター)の認知度は3～13%程度と低くなっており、全ての相談、受診先を知らないとの回答割合は19%でした。

(4) 休日に受診する場合の対応

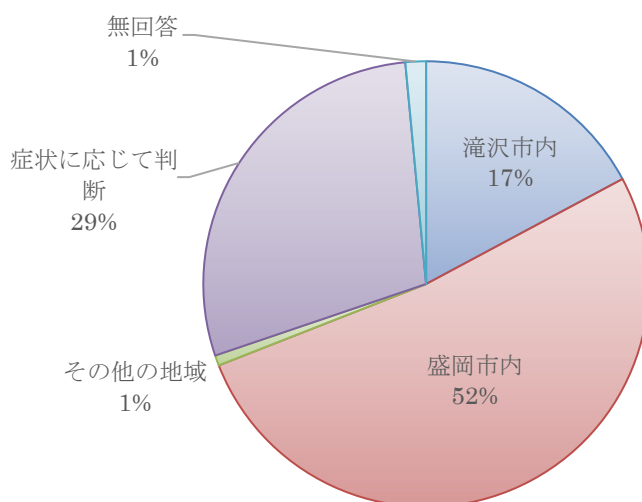
問 10 休日にあなたの具合が悪くなり、医療機関を受診したい場合、どのように対応しますか。【1つ選択】



64%の回答者は、自分又は家族の運転で救急医療機関に向かうと答えており、当番医に電話をするとの回答は12%、かかりつけ医に連絡するという回答は3%でした。119番への電話が8%、公共交通やタクシーを使うとの回答が4%と低くなっており、可能な限り家族内で対処したいとの考えの人が多くなっています。

(5) 休日に受診する場合の医療機関の場所

問 1 1 休日にあなたや家族の具合が悪くなり、医療機関を受診したい場合、どの地域の医療機関を受診すると思いますか。【1 つ選択】

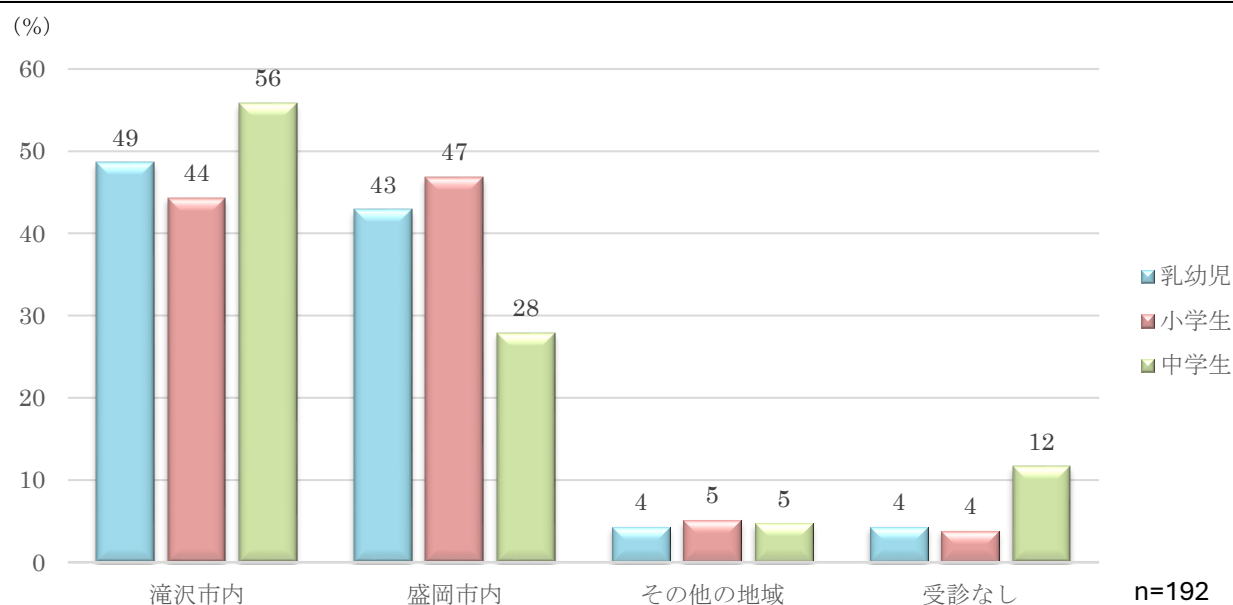


n=937

52%の方が盛岡市内の医療機関を選択すると回答しています。一方、滝沢市内の医療機関を選ぶ人は17%であり、症状に応じてその時に考える（決めていない）という人が29%を占めています。

(6) 子ども（乳幼児から中学生まで）が主に受診した医療機関の場所

問 1 0 お子さんの世代（乳幼児、小学生、中学生とのお子さんが最近1年間で最もよく受診した医療機関の場所を教えてください。【該当者の保護者が回答。該当区分ごとに1つ選択】

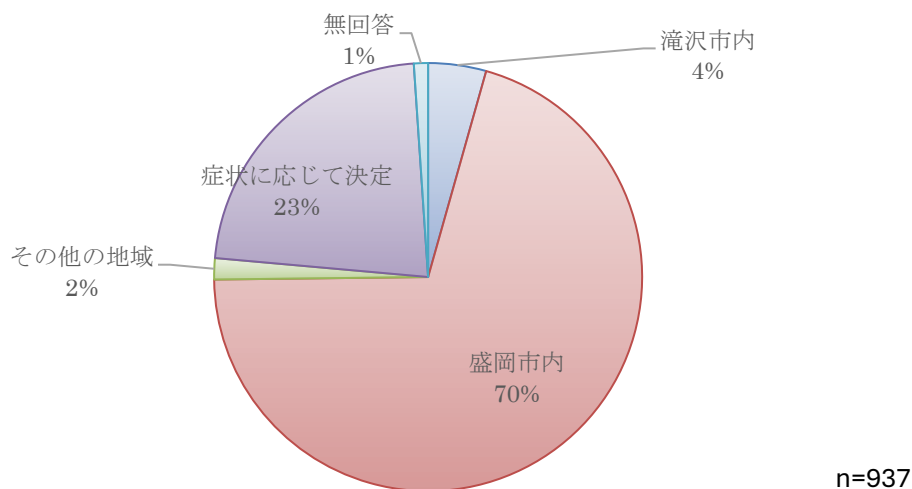


n=192

問 3 の最もよく受診した医療機関の場所の回答と比べると、子どもが通院する医療機関に関しては、滝沢市内の医療機関を利用している方の割合が高くなっており、大人に比べ子どもの受診に際しては、市内の小児科を受診する傾向があることが示唆されました。

（７）高度な医療を受ける場合、希望する入院先の医療機関の場所

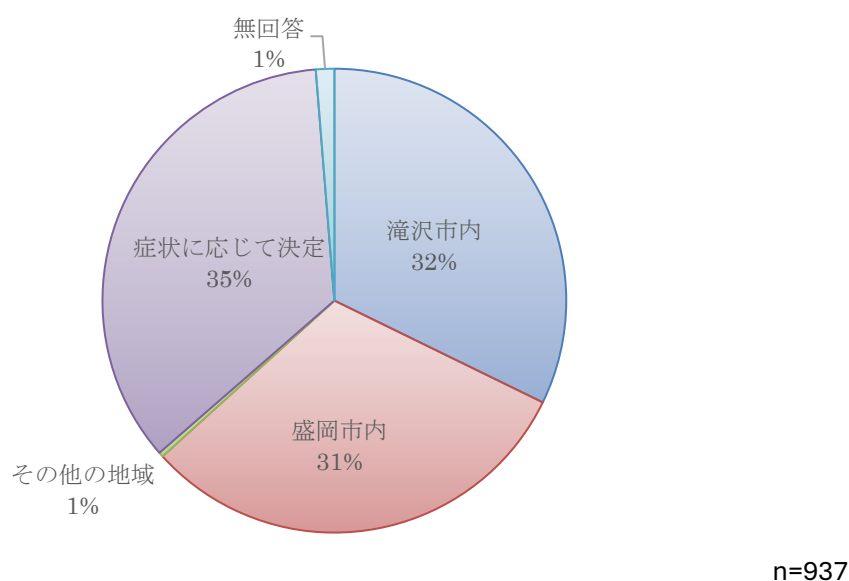
問１３ 救急救命や集中治療など、特に高度な医療が必要になった場合、あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。【１つ選択】



命に関わる救命救急や集中治療などを受ける際の入院先では、70%の回答者が盛岡市内の医療機関を選択しており、滝沢市内の医療機関は4%となっています。二次救急、三次救急に対応した病院など、高度医療を受診する場合は、盛岡市内の医療機関への入院を希望する傾向が伺えます。また、実際の症状に応じて決めるという回答が23%ありました。

（８）回復期、リハビリの際の入院・通院先医療機関の場所

問１４ 病状が安定し、退院に向けた治療やリハビリを行う場合には、あなたはどの地域の医療機関に入院または受診したいですか。【１つ選択】

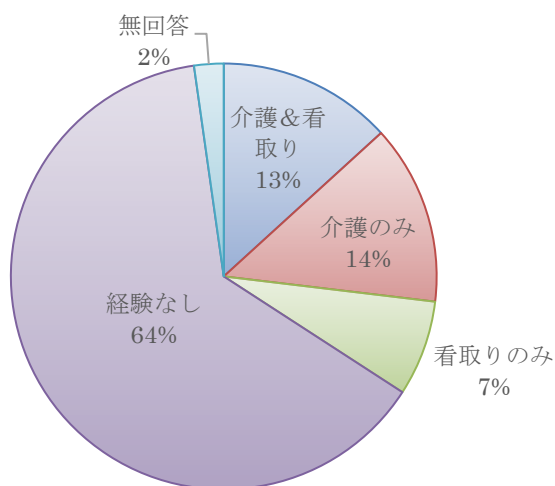


急性期を脱して回復期やリハビリなどで入院や通院をする際には、回答者が入院又は通院をする医療機関は滝沢市内（32%）と盛岡市内（31%）がほぼ同率となっています。また、症状に応じてどの地域にするのか決定するとの回答が35%に上りました。高度医療とは対照的に、滝沢市内での受診を希望する方が増えています。

3 介護、看取り、終末期について

(1) 介護や看取りの経験

問15 自宅で家族・親族を介護した経験や看取った経験はありますか。【1つ選択】

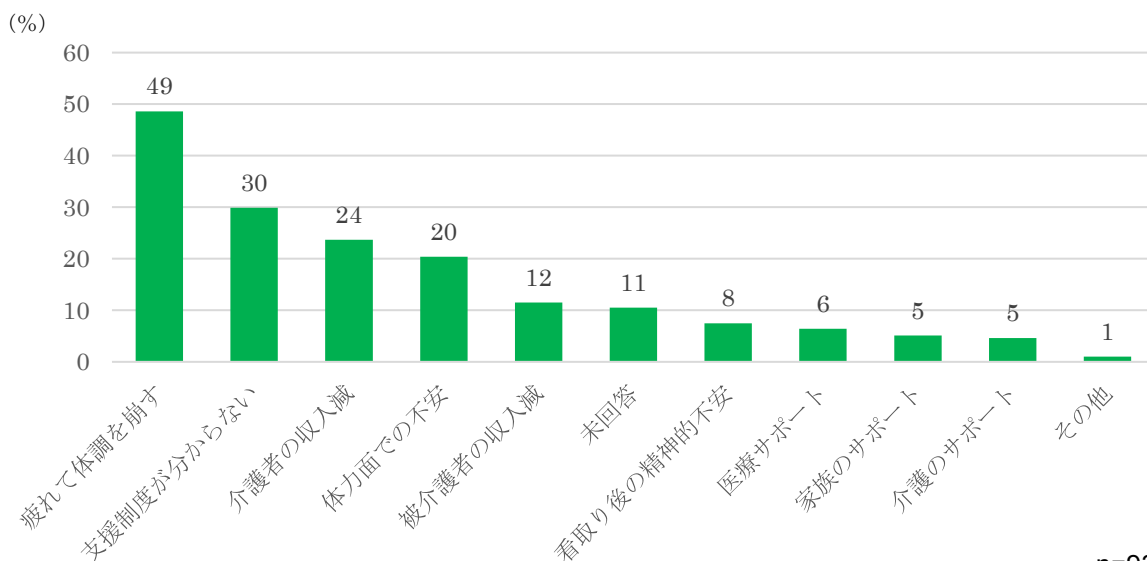


n=937

自宅での介護や看取りの経験がない方が64%でした。家族や親族の見取りをした経験のある方は34%でした。そのうち、介護も看取りも両方とも経験した方は13%、介護のみと答えた方が14%、看取りのみと答えた方が7%でした。

(2) 自宅介護・看護で不安を感じたこと、感じると予想されること

問16 自宅での介護や看病において不安を感じたこと、または、そのような状況を想定した場合に不安を感じることを教えてください。【最もよく当てはまるものを2つまで選択】

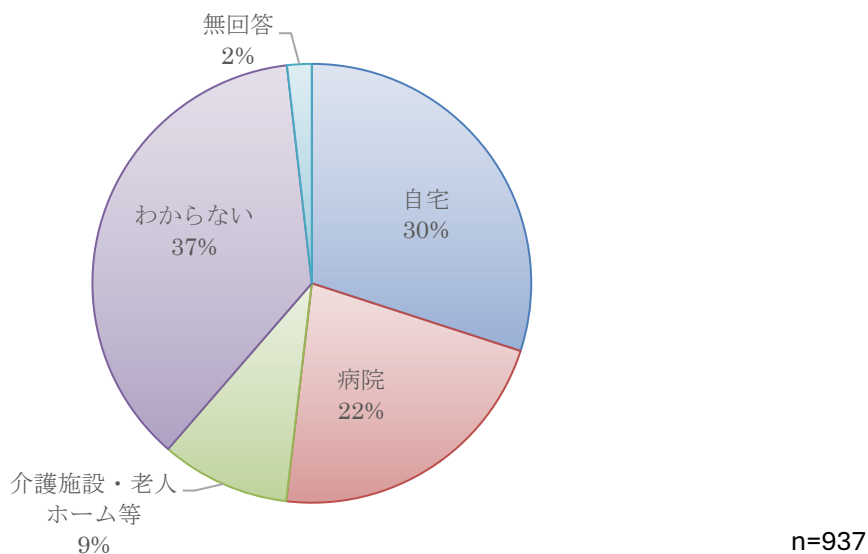


n=937

疲れて体調を崩すと答えた方が49%にのぼり、次いで支援制度やサポートが不明が30%、介護・看護者をする方の収入減による経済的負担が24%、体力面での不安が20%、被介護（看護）者の収入減による経済的負担が12%となり、精神的な不安（8%）、医療サポート（6%）と続いています。

(3) 終末期を迎える際に望ましい場所

問 1 7 終末期を迎える場所について、あなたの希望を教えてください。【1つ選択】

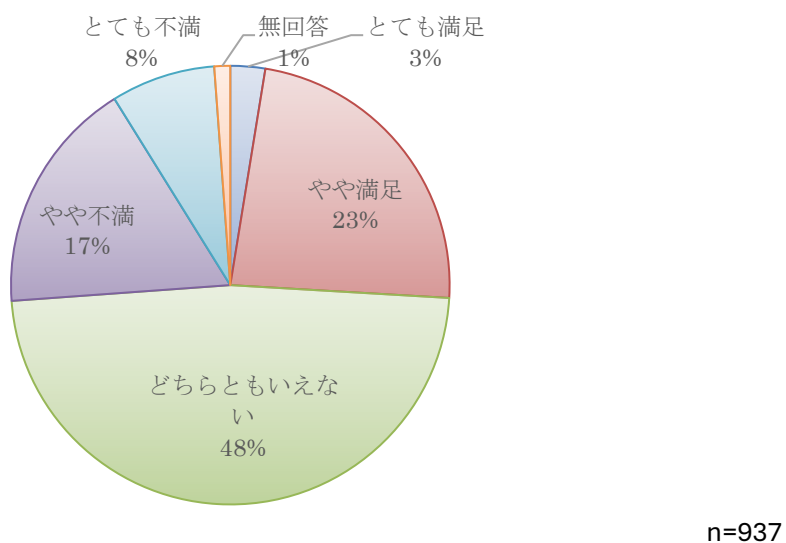


人生を終える場所について、回答者の30%の方が自宅と答えています。また、病院という回答も22%あります。介護施設や老人ホームで最後を迎えたいという希望は9%でした。その一方で、まだはっきりと希望は決まっていないと考えられる、「わからない」との回答割合は、37%と最多となりました。

4 滝沢市の医療に対する満足度、望まれる診療科目、医療体制等について

(1) 滝沢市の医療に対する総合的な満足度

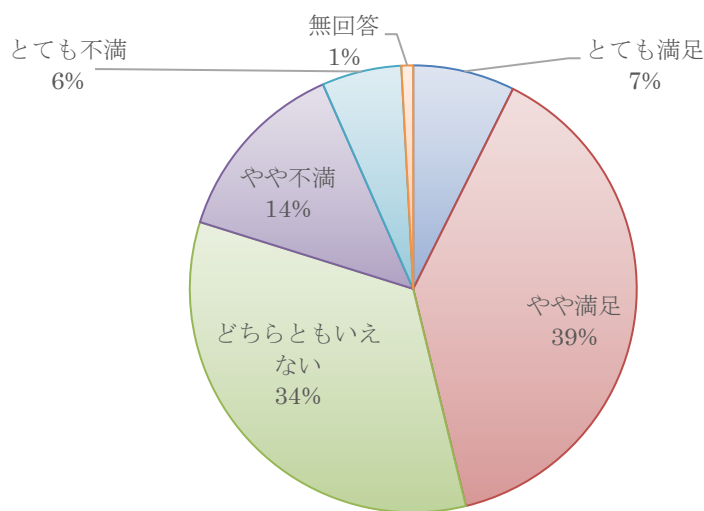
問 1 8 現在の滝沢市内の医療に対する総合的な満足度を教えてください。【1つ選択】



とても満足とやや満足と答えた方の割合の合計は26%、とても不満とやや不満と答えた方の割合の合計は25%で、ほぼ同じ程度の割合になっています。最多の回答は、どちらともいえないで48%でした。

(2) 自宅から通える範囲内の医療に対する総合的な満足度

問 1 9 現在の、自宅から日常的に通える範囲内の医療に対する総合的な満足度を教えてください。【1つ選択】

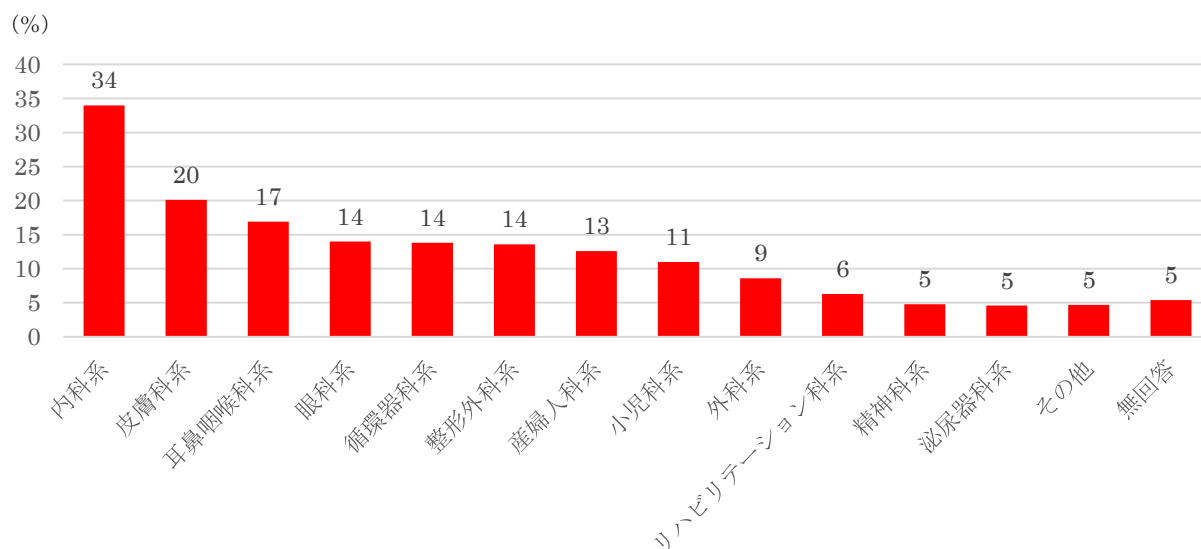


n=937

前問（滝沢市内の医療への満足度）の回答とは対照的に、とても満足、やや満足と答えた方の割合を合計すると46%となり、自宅から通える範囲内の医療に関する満足度は高い傾向が伺えます。とても不満とやや不満と答えた方を合計すると20%となります。どちらともいえないと答えた方の割合は、34%となっています。

(3) 滝沢市内で充実して欲しい診療科

問 2 0 滝沢市内で充実して欲しい診療科を教えてください。【当てはまるもの2つまで選択】

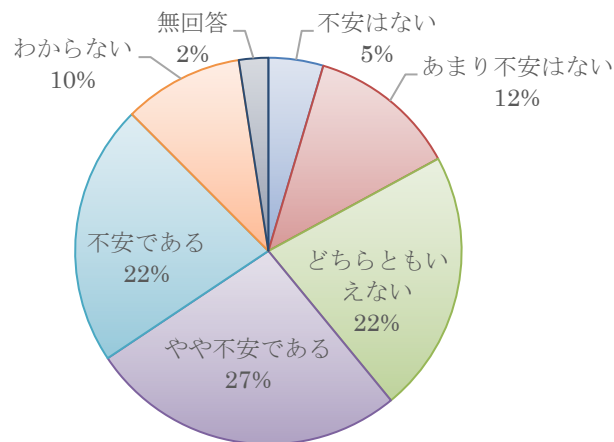


n=937

直近に受診した診療科の設問とは異なり、今後充実してほしい診療科としては、内科は34%にとどまり、皮膚科（20%）、耳鼻咽喉科（17%）、眼科（14%）、循環器科（14%）、整形外科（14%）、産婦人科（13%）、小児科（11%）といった要望が多くなっています。直近に受診した診療科の回答割合とは違う傾向があることが分かります。

（４）将来の滝沢市内の医療に対する不安の度合い

問２１ 近い将来（１０年後程度）の滝沢市内の医療に関する不安感についてあなたのお考えを教えてください。【○を１つ】

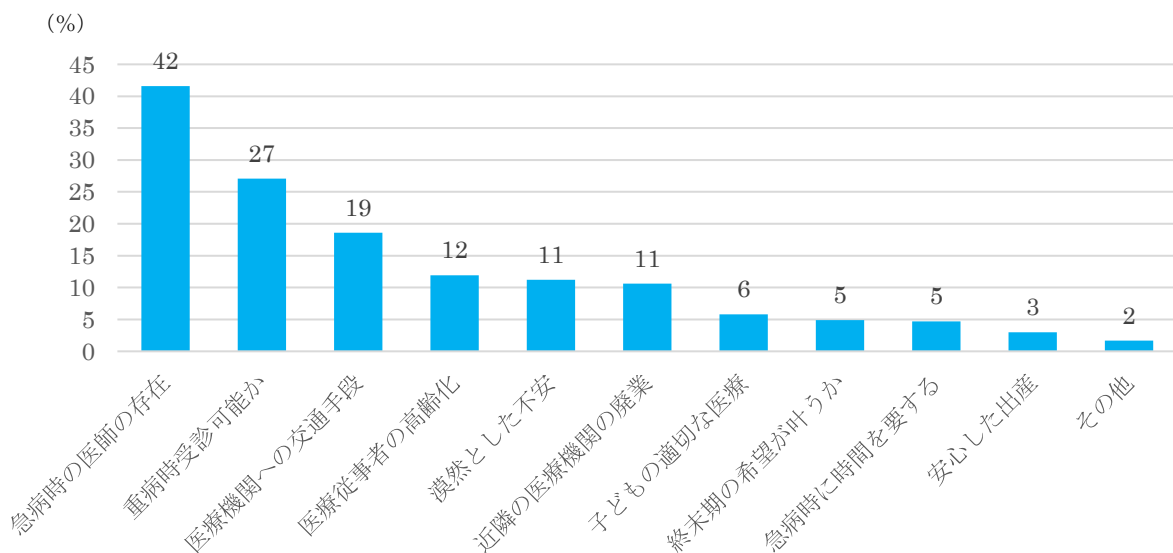


n=937

不安がない、あまり不安がないと回答した方の割合を合わせると１７％となるのに対して、不安である、やや不安であると回答した方の割合は合計で４９％と約半数となることがわかりました。他の設問と合わせても、現状に満足しておらず、不安を抱えている人が少なからずいるとの状況が伺えます。

（５）将来の滝沢市内の医療で不安を感じること

問２２ 将来の滝沢市内の医療について不安と覚えることは何ですか。【問２１で「不安はない」以外の回答をした方のみ。最も当てはまると思うもの２つまで選択】

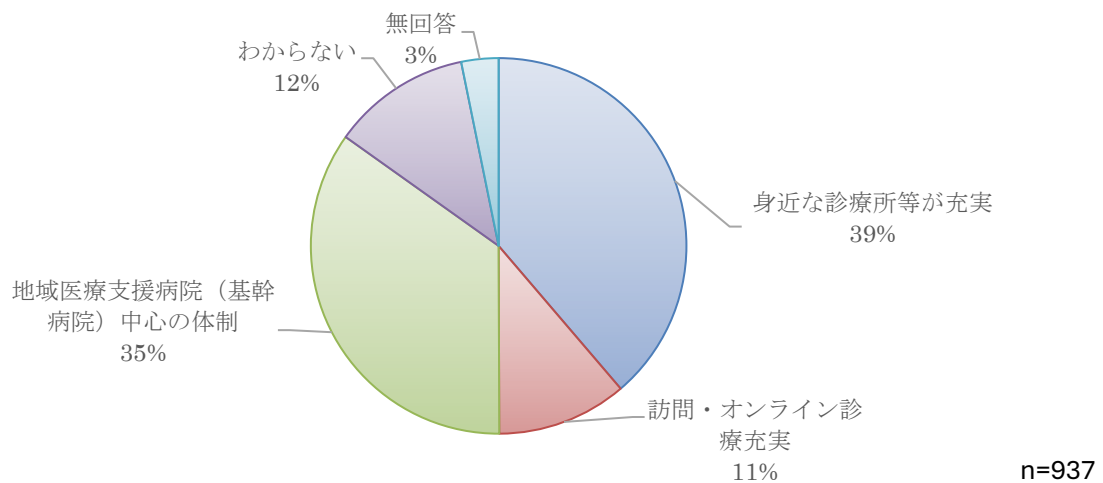


n=894

将来の滝沢市内の医療についての不安の内容を聞いたところ、最も多かったのは、急病時にすぐに対応できる医師がいるかどうか（４２％）でした。次いで、重病の場合に診察可能な医師がいるか（２７％）が多く、いざという時にすぐに適切な医療が受けられるかを心配する市民が半数以上であることがわかりました。そのほか、交通手段への不安、医療従事者の高齢化、近隣の医療機関の廃業と続きます。救急時、重病時、搬送時の医療対応に対する不安と、医療従事者の高齢化や廃業に対する不安が大きい傾向があるといえます。

（６）滝沢市が今後目指すべき地域医療体制

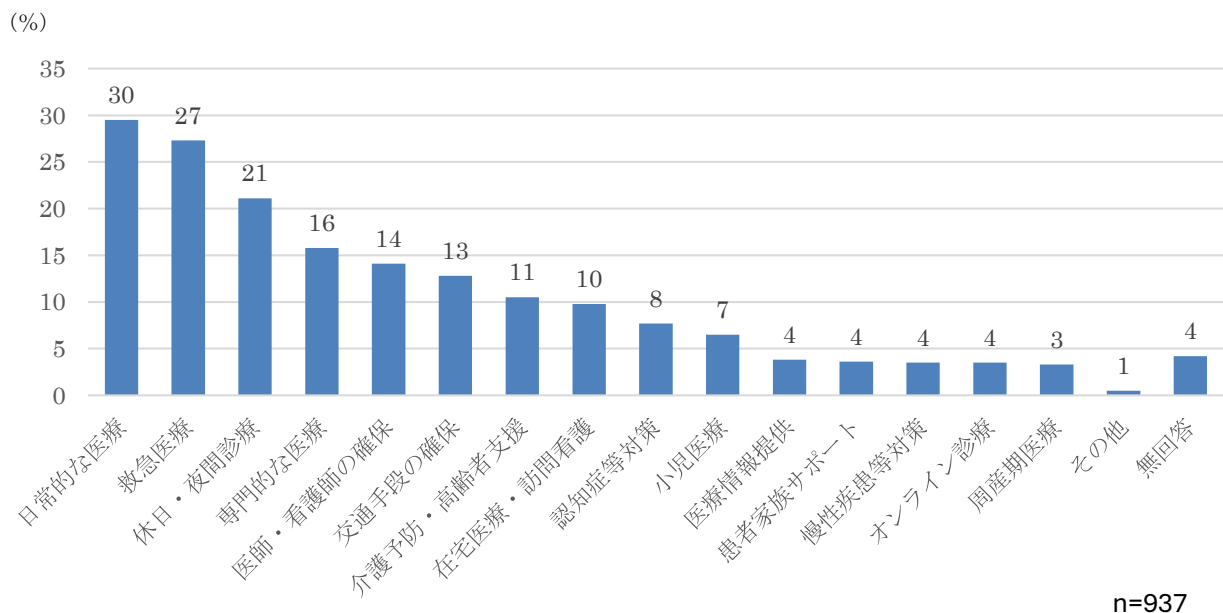
問２３ 滝沢市が、今後目指すべき滝沢市内の地域医療体制について、あなたはどのように考えますか。【１つ選択】



最も多かったのは、「身近なクリニック、診療所等が充実した医療体制の構築」（３９％）であり、「訪問診療やオンライン診療の充実による受診しやすい医療体制の充実」（１１％）と合わせると、全体の半数の５０％の方が、住居の近くで、あるいは在宅で受診しやすい環境が整うことを望んでいます。一方、身近な診療所と同様に多くの人が希望しているのは、「地域医療支援病院などの基幹となる病院を中心医療体制」（３５％）でした。現在、盛岡広域医療圏内の地域医療支援病院は、県立中央病院と盛岡赤十字病院の２つ病院ですが、同様の基幹的な病院を望む声が３分の１以上を占めています。

（７）今後の滝沢市内の医療に必要な対策

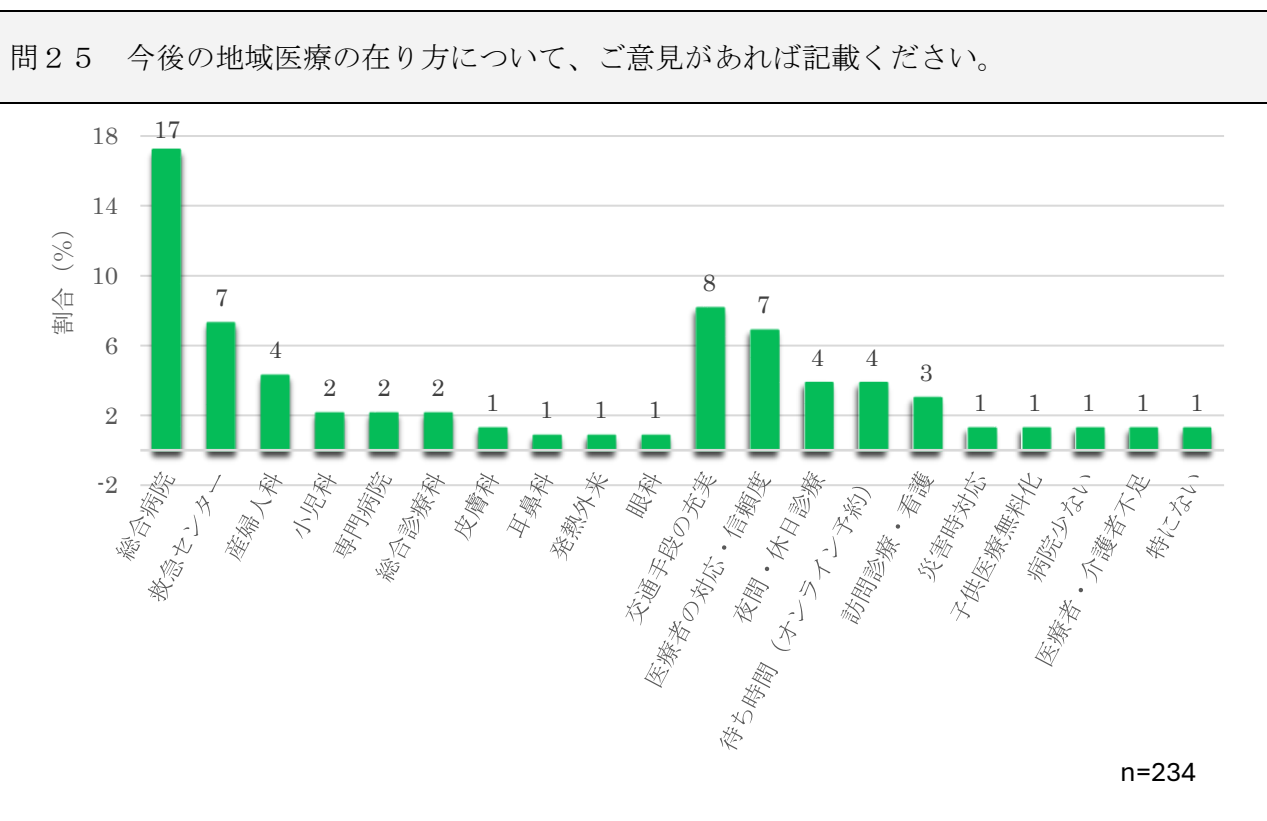
問２４ 滝沢市内の医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。【２つまで選択】



今後滝沢市内の医療の充実には何が（どんな対策が）必要かとの問いに対して、日常的な医療の充実が最も多く（３０％）、次いで、救急医療（２７％）、休日・夜間診療（２１％）、専門的な医療（１６％）、医師・看護師確

保（１４％）、交通手段確保（１３％）、介護予防、高齢者支援（１１％）在宅医療・訪問看護（１０％）と続いています。ほかにも、認知症対策や患者家族サポート、医療情報提供、小児医療、慢性疾患対応、オンライン診療といった声もありました。全体的にみるとニーズは多様ともいえますが、やはり前問と同じように、身近な診療所等の充実と専門性が高く救急時や夜間・休日にも対応など、多様な診療体制が求められていると考えられます。また、あわせて、医療従事者確保による在宅診療や訪問看護の拡大や介護をはじめとした高齢者に対する支援強化を望む傾向も伺えます。

（８）今後の地域医療の在り方に対する意見（自由記述）



意見が多かったのは、多くの診療科や救急、入院病床を備えた総合病院（地域医療支援病院）を求める声でした（１７％）。この中には、盛岡赤十字病院の誘致を求める意見もありました。また、現在市内にはない救急センターが必要との意見も多く、回答者の７％からの意見がありました。次いで、診療科では産婦人科（婦人科含む）が４％と最も多く、小児科、専門病院、総合診療科が２％と続き、皮膚科や耳鼻咽喉科、発熱外来、眼科が必要との意見もそれぞれ約１％ありました。また、医療で改善すべき点として、交通の便が悪い（バスがない、タクシーが来ない、送迎バスがないなど）の声が８％と多く、次に医師や看護師の対応や信頼性に問題があるとの意見が６％ありました。次に多かったのが夜間・休日診療が必要、混んでいて待ち時間が長い（オンライン予約を）との意見で、それぞれ約４％ありました。ほかには、訪問診療・看護（在宅医療）を充実させるという意見が３％ありました。ほかには、災害時対応の必要性、子供医療無料化、病院を増やす必要性、医療者や介護者不足を指摘する意見がそれぞれ約１％となっています。全体として、診療所や病院、それから産婦人科、小児科をはじめとする診療科を増やす、通院の交通手段を確保する、といった声の大きいとの傾向が見られました。

第3章 市内医療機関との意見交換等の結果

市内の全19医療機関（2病院及び17診療所）に対し、各医療機関の責任者との意見交換を依頼し、令和6年11月から令和7年1月までの間、面談可能との連絡のあった5つの医療機関を訪問し、院長等の代表者との意見交換を実施しました。

また、様々な事情により対面での意見交換が難しいとの回答があった医療機関に対しては、書面による調査事項への回答を依頼し、対面による意見交換を実施した5つの医療機関を含め、18の医療機関から調査事項に対する回答をいただきました。

本章では、第1項で「面談による意見交換」について、また、第2項から第4項まででは、書面回答から得られた内容をともに、「経営環境」、「今後の診療方法拡充」、「今後の滝沢市の地域医療」の3つの観点で回答内容を取りまとめ、その内容を記載しています。

1 対面による意見交換

（1）地域医療支援病院（基幹病院、総合病院）について

- ・コロナ禍のような感染症大流行時に身近に基幹病院がないのは痛手だった。行政もクリニックも混乱した部分があった。個人医院をまとめ、核となって対応できるような基幹病院があれば心強いと感じる。
- ・基幹病院の誘致は、なかなか厳しいのではないかと感じる。医療法によって基準病床数が定められており、申請があっても知事は認めないことが可能である。新設は無理だろうと感じている。
- ・市民からも盛岡赤十字病院の誘致を求める意見もあると聞いているが、思い違いをしている部分もあるのではないかと感じる。2次医療を担う基幹的な病院が立地しても基本的には紹介状が無ければ受診できない。市側でもそういったことをしっかりと市民に伝える必要があると感じる。
- ・産科、小児科、外科、二次救急に対応できる基幹的な病院が市内にあればと思うが、自院の来院者の多くは自家用車での通院であり、県立中央病院や盛岡市内のクリニックへの移動が容易である。必要があれば遠くなったとはいえ、矢巾町の医大への移動も可能である。
- ・基幹的な病院はあるに越したことはないが、移動手段がある患者は、必要に応じて盛岡の病院に通院している。例えば、滝沢としては高齢者については看取りまで含めてしっかり面倒をみる。それ以外の世代については、盛岡広域で対応するなど、地域としての役割分担を考えても良いの

ではないか。

- ・滝沢に基幹的な病院がないことが課題だ。
- ・災害時など中核となる病院が必要。
- ・産科、小児科はもちろん、救急対応が可能な基幹的な病院があるにこしたことはない。現状、緊急性の高い患者、重症患者は県立中央病院、岩手医科大学付属病院、国立病院、滝沢中央病院、松園病院などにつなぐなどして対応している。
- ・滝沢市には小児科が3か所あるが、そのうち2つの医院は新しい先生である。滝沢市はベッドタウンで子どもが多く、小学校を新設したほど。また、滝沢市は高齢化率が低い。まだまだ子どもたちや現役世代が多いことを踏まえて、医療の在り方についても若手や子どものための医療の提供、充実は必要と思う。そのためにも滝沢市には基幹的な病院が必要と考え、誘致には賛成している。特に盛岡赤十字病院は、乳幼児や子どもに関する分野での実績もあり、非常にありがたいと考えている。

（２）夜間・休日診療について

- ・休祭日診療について、公立病院のある自治体は上手に運営していると感じる。病院等医療機関の一角を休祭日診療所として市が借り受け、医師会等と連携し運営するなどといった滝沢市なりの方法も考える余地があると考える。
- ・滝沢市の当番医に関して休日医の当番を減らした結果、盛岡市内の医師から、とある正月休み中の患者数が、盛岡市民は150人であったのに対し、滝沢市民が200人来院するなどして大変だったとの話を聞いた。休日当番医制度の後退と感じている。

（３）各医療機関個別の課題

- ・医療を担う医師、看護師、介護福祉士などの人材確保が課題であると感じている。
- ・当院の課題は、アンケートの設問にあったこと全てが該当するが、特に患者数の減少、患者単価の減少、医療DXを課題として捉えている。
- ・収入減少に伴って、医療DXを進めたいと考えていても投資が難しい。電子カルテも未導入で、当院規模では1億単位の費用を要するほか、ランニングコストも膨大である。導入経費に対する国の補助はあるようだが、むしろ維持費に対する支援を望みたい。
- ・高齢でもあり、中長期の医院経営の自信がない。医師の高齢化が課題だと感じる。

- ・医療スタッフの確保が課題。今は長く勤める人は少ないと感じる。以前は、医師も看護師も首都圏で一旦勤務しても、一定のキャリアを積んで帰郷する人もある程度いたが、そういったUターンがなくなったと感じる。地方と首都圏は圧倒的な賃金差があり、戻ってこないのだと感じる。
- ・回復期医療を担っているが、入院していた患者のその後が気になり、在宅医療や介護施設へ転職する看護師の方もいる。
- ・マイナンバーカードの利用など医療DXへの対応が課題。電子カルテや自動精算機などを導入したいのはやまやまだが、数百万単位の費用が問題。仮に導入費用は捻出できてもランニングや5年ごとの更新費用を考えるとかなりの負担感がある。マイナンバーカードの読み取り機械については、導入時は国の補助金があったが、数年後の更新時には全額自前での購入見込みである。

(4) 滝沢市の現在の医療課題

- ・市内で不足していると感じる診療科は外科である。ちょっとしたケガ、骨折や裂傷など簡単な手術で済むものも、近くに外科がないことから盛岡市のクリニックを紹介している。
- ・滝沢市内でも医師の偏在があると感じている。
- ・誰が医療を総合的に構築するのか。一番悩ましいのは、怪我、虫垂炎なども県立中央病院につながっており、集約しすぎであると感じる。
- ・地域医療を成り立たせるためには、産科と外科が必要であると考える。
- ・基幹的な病院の誘致といってもすぐには無理である。盛岡広域医療圏内での役割分担も必要と考える。当院の周辺に住んでいる方は、盛岡市内の医療機関にも比較的至近なので、そちらに通院している方も多い。

(5) 滝沢市の今後の医療の方向性についての見解

- ・限られた医療資源の中で、今後は在宅医療がメインになってくるのではないかと。全国的にも訪問診療に力点を置く方向になってきている。
- ・一番は滝沢市立病院があればよい。休祭日・夜間の診療やコロナのような非常時の対応など、滝沢市内で完結できることが理想。個人のクリニックとしてもメリットしかない。
- ・2次医療も滝沢市内で構築できればよい。2次救急を受ける環境が遠いと感じている。

(6) 滝沢市が取り組む将来の地域医療への意見、要望

- ・今後の市の地域医療を考える上でも、医療と介護の連携を重視していくべき。

- ・医師がいなければそもそも地域医療という話にはならず、いかに医師を岩手医大に残すかが大切。県や市町村もそのための支援策などを考えて欲しい。
- ・個人医院としての課題は、電子カルテなどのシステム導入と運用管理。導入経費もちろんだが、災害や停電時など何かあった時の対応が難しい。平常時・非常時問わず管理やメンテナンスを相談できる、お願いできる人（業者）がいれば助かる。医療DXを進めたくても我々医師には限界がある。市がハブとなってそういった人材（業者）を定期的に巡回させるような取組をしてくれれば大いに助かる。
- ・サイバー攻撃への対応も課題で、システム管理に協力できる方などを市で育成して欲しい。
- ・市では、医療に対して、何の努力もしていないのではないかと感じる。市立病院や、休祭日診療所などの計画も立てたこともない。訪問診療や看護施設を市がつくり、「滝沢訪問診療センター」などとして運営してはどうか。
- ・盛岡市との連絡を強化して欲しい。
- ・最近では発達障害など障害を抱えた児童・生徒の受診も増えてきており、障害児・者に対する医療の提供体制も重視していかなければならないと感じる。発達障害に特化した医療・保育の提供体制を構築してもいいのではないか。具体的には、保育園や専門のセンター（発達支援センター）が必要になる。医療機関と保育園とが連携して滝沢独自に発達障害などに特化した医療を行うことができれば、子どもが多い滝沢市ならではの特徴的な取組になると思われる。
- ・市から子育て支援金を支給し、子育てに必要な費用の無償化は実現できないか。市には、多くの保育園や、放課後デイサービスなどもあり、充実した子育て環境につながると考える。

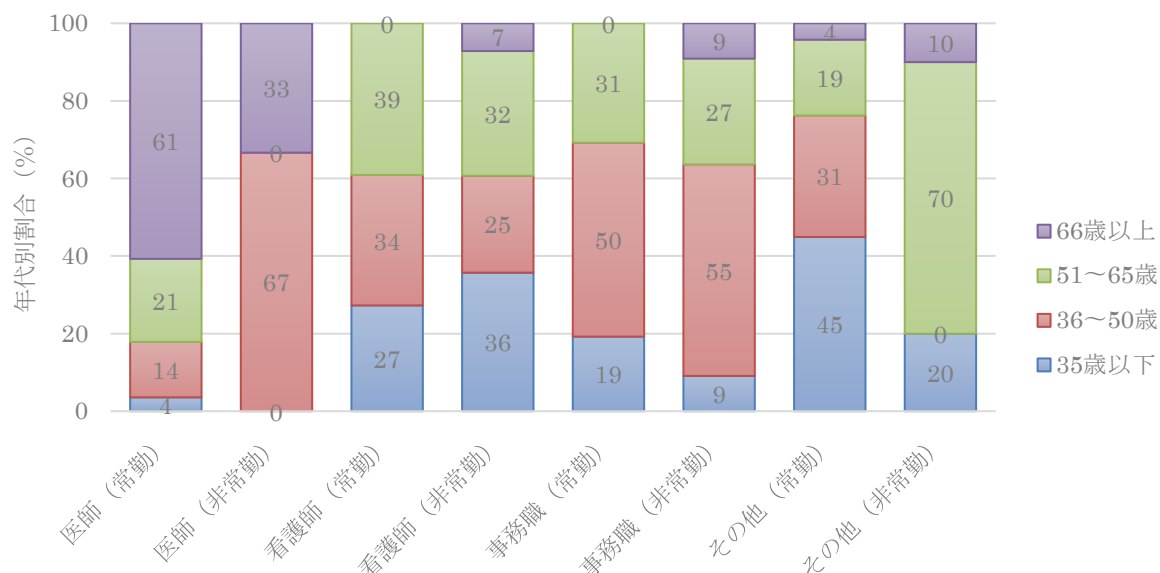
（７）医療従事者の人材確保について

- ・医師不足について、昔は医局が手配して各地域への派遣が可能であったが、現在は医局制から研修医制に移行したため、研修医の意向に沿うこととなり、不足地域とのマッチングが課題である。
- ・看護師などの医療スタッフは、スキルアップやライフスタイルに合わせた働き方を求めて転職する傾向にある。当院は幸い定着率が良いが、結婚、出産、子育て、親の介護などスタッフの希望にあわせた柔軟な働き方が可能な仕組みをつくり対応している。
- ・岩手医大の研修医も多くが県外に流出している。理由は、スキルアップや条件面などと聞く。研修医を引き留めるための対応が必要である。

2 経営環境について

(1) 医療従事者の年代別分布

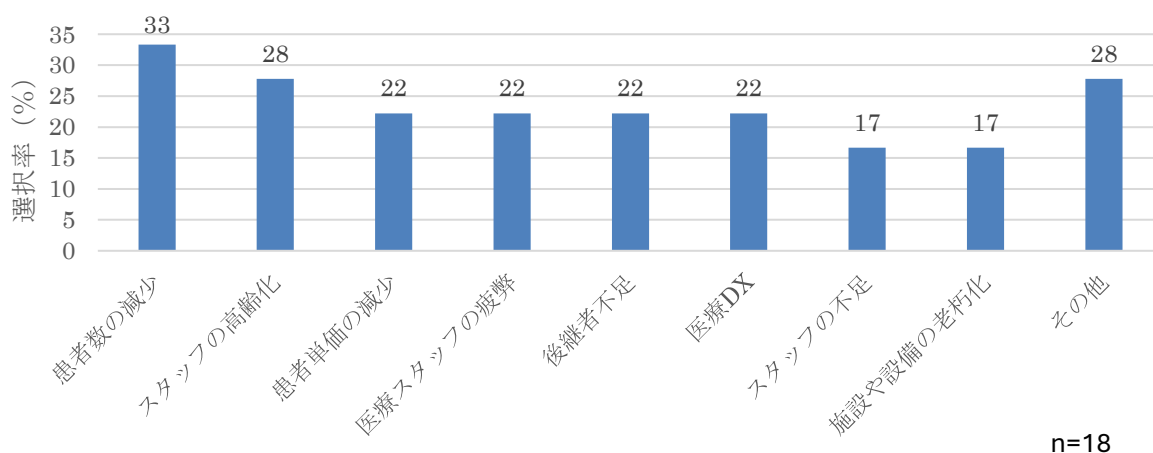
貴医療機関における従事者の年代を教えてください。【R6.10.1時点】



常勤・非常勤を合算した医師の年代別分布を分析すると、66歳以上が(58%)と最も多く、51歳から65歳と36歳から50歳がともに19%となっています。看護師は51歳から65歳が(38%)で最も多く、36歳から50歳が32%、35歳以下が29%となっています。その他事務職では36歳から50歳が最も多く、49%、その他のスタッフは、35歳以下が最も多いとの結果になりました。

(2) 抱える課題

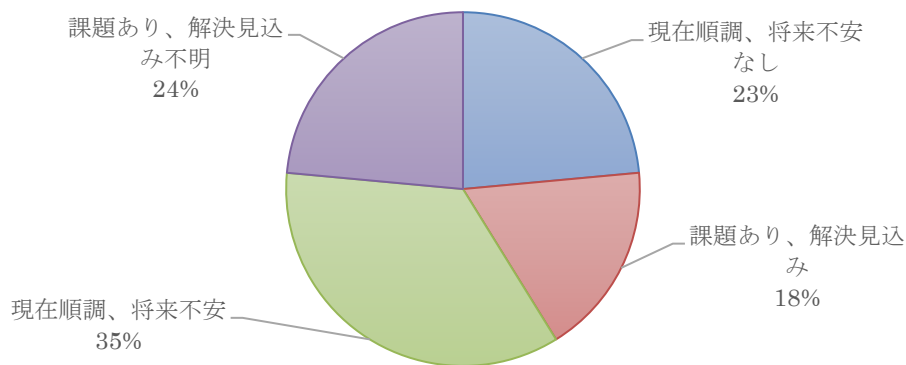
貴医療機関における課題を教えてください。【3つまで選択可】



最も多い回答は、患者数の減少(33%)でした。続いてスタッフの高齢化、医療スタッフの疲弊、患者単価の減少、スタッフ不足、後継者不足、施設や設備の老朽化、医療DX(マイナカード対応等)がそれぞれ22%となっています。また、スタッフ不足や施設・設備の老朽化との回答も17%ありました。

(3) 経営環境

貴医療機関の経営環境を教えてください。【1つ選択】



n=17

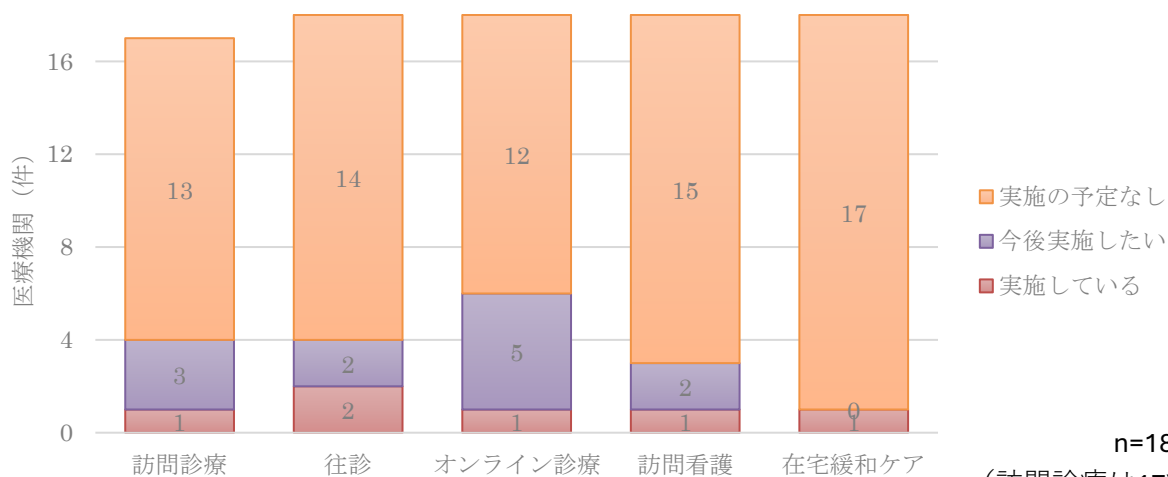
経営環境について、現在順調であり将来的にも不安はないと回答した医療機関は23%にとどまり、最も多かった回答は、現在は順調だが将来的には不安であるとの回答で、35%でした。2番目に多かったのは、現在課題を抱えており将来的に解決できるかどうかかわからないが24%でした。現在と将来についてまとめると、課題があるとの回答は全体の42%に対し、将来に不安を抱えているとの回答は59%でした。

3 今後の診療方法拡充について

(1) 診療の実施状況と診療項目の追加予定

貴医療機関における診療の実施状況と今後の実施予定を伺います。【診療項目ごとに1つ選択】

※ 訪問診療、往診、オンライン診療、訪問看護、在宅緩和ケアの5項目について質問



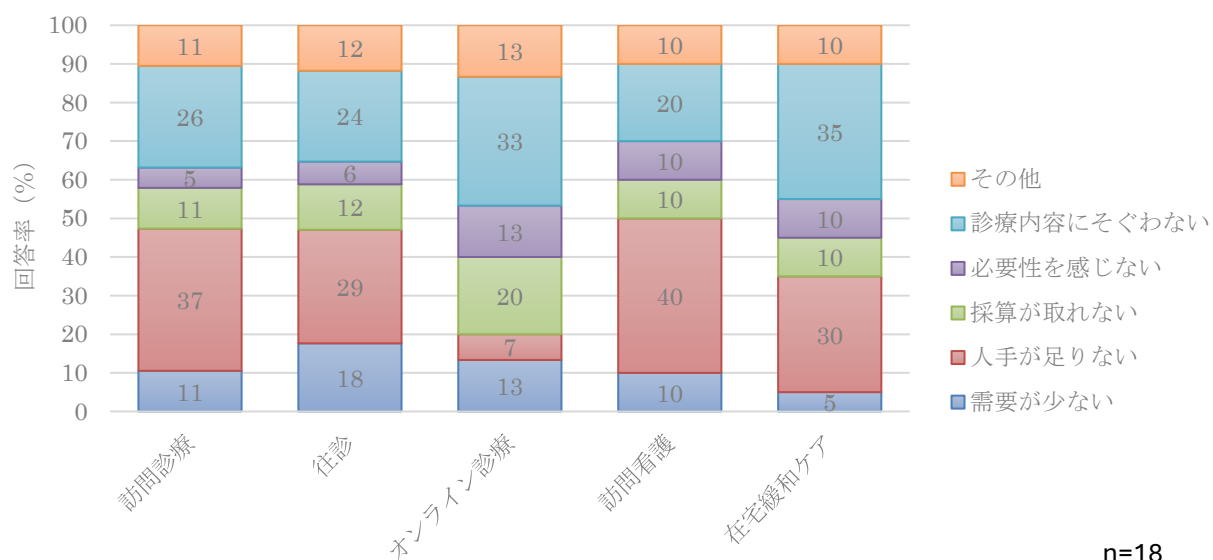
n=18

(訪問診療は17)

5つの診療項目（訪問診療、往診、オンライン診療、訪問看護、在宅緩和ケア）について、現在の実施状況と今後の予定について質問したところ、18医療機関のうち、現在全てを実施していると回答したのは1機関のみで、その他1つの医療機関で往診を実施しているとの結果でした。また、今後も全項目の実施予定がないという医療機関が10ありました。そのほか、オンライン診療を導入したいとの回答が5医療機関あり、訪問診療、訪問看護又は往診を導入予定としているとの回答も3医療機関からありました。

(2) 今後診療項目を追加しない理由

伺った診療項目について、「今後実施の予定はない」と回答した理由を教えてください。【該当する診療項目ごとに1つ選択】

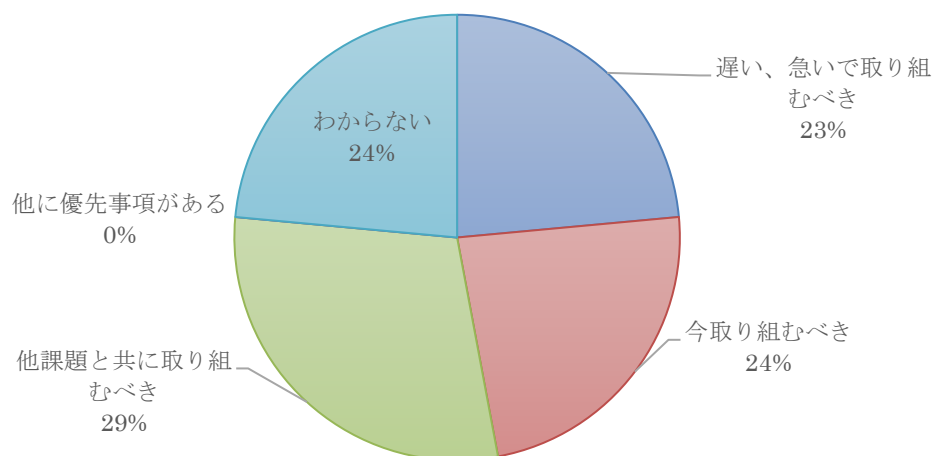


今後実施予定がないと回答した診療項目について、その理由を尋ねたところ、最も多い回答は、訪問診療(37%)、往診(29%)、訪問看護(40%)では「人手が足りない」でした。また、在宅緩和ケア(35%)とオンライン診療(33%)については、「診療内容にそぐわない」という回答が最も多くなりました。その他では、採算が取れない、必要性を感じない、需要が少ないとの回答も一定数見られました。その他では「ノウハウがない」、「介護施設で看取りを行っている」といった回答もありました。

4 今後の滝沢市の地域医療について

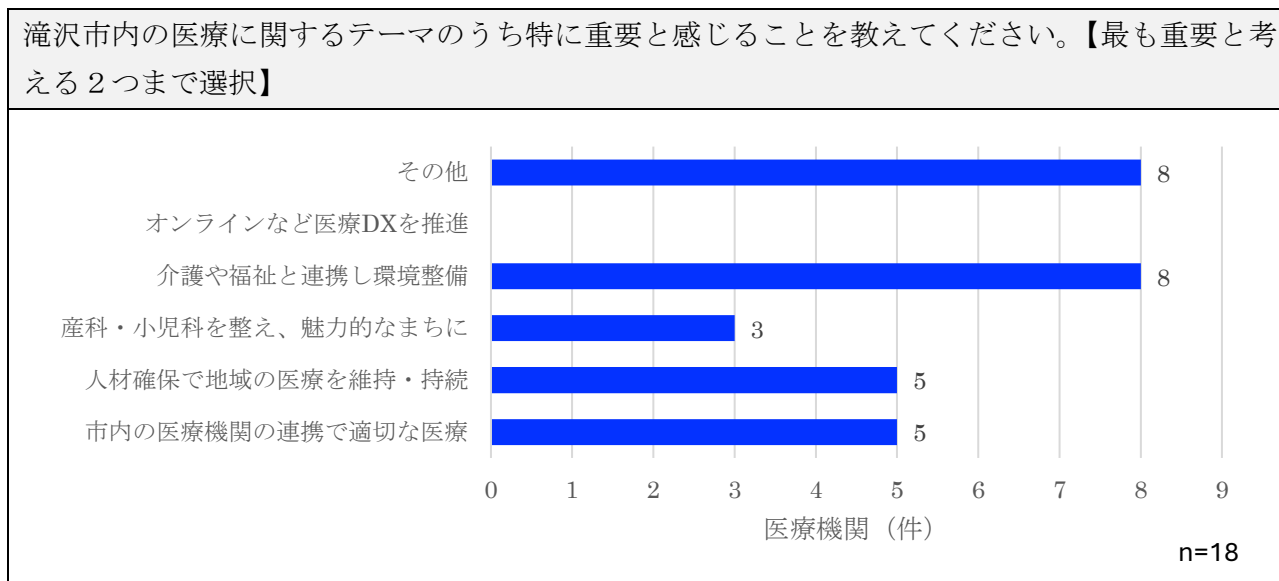
(1) 地域医療の将来像を検討している市への意見

滝沢市では、地域医療の維持に関し、市民の意向を聞きながらあるべき将来像を検討しようとしています。このことについて、貴医療機関の考えを伺います。【1つ選択】



地域医療の維持に関する市の取組について、急いで取り組むべき、又は、今取り組むべきとの回答が47%ありました。ほか、他にも課題とともに取り組むべきとの回答も加えると、多くの医療機関が地域医療の維持に向けた取り組みを市において進めるべきと考えている結果になりました。

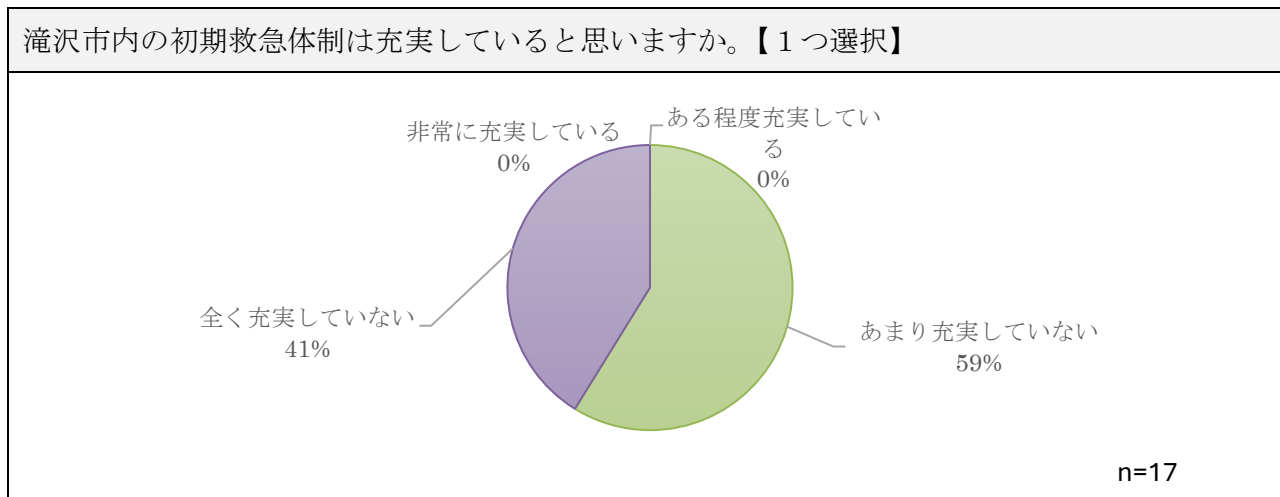
(2) 滝沢市における医療テーマ



滝沢市内の医療に関する重要なテーマについての考えを尋ねた質問には、介護や福祉と連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること、という回答が最も多くありました。次いで、医師や看護師などを確保し、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境を整えること、市内の医療機関が連携し、市内のどこに住んでいても日常の医療を適切に受けられること、との2つの回答が同数で続きます。また、産科や小児科などの子育てに欠かせない医療を整え、幅広い世代に対してのまちの魅力を高めること、という回答も一定数ありました。一方、重要な医療テーマとして医療DX（オンライン診療など）を選択した機関はゼロでした。また、その他として多くの意見が寄せられました（以下に列挙）。

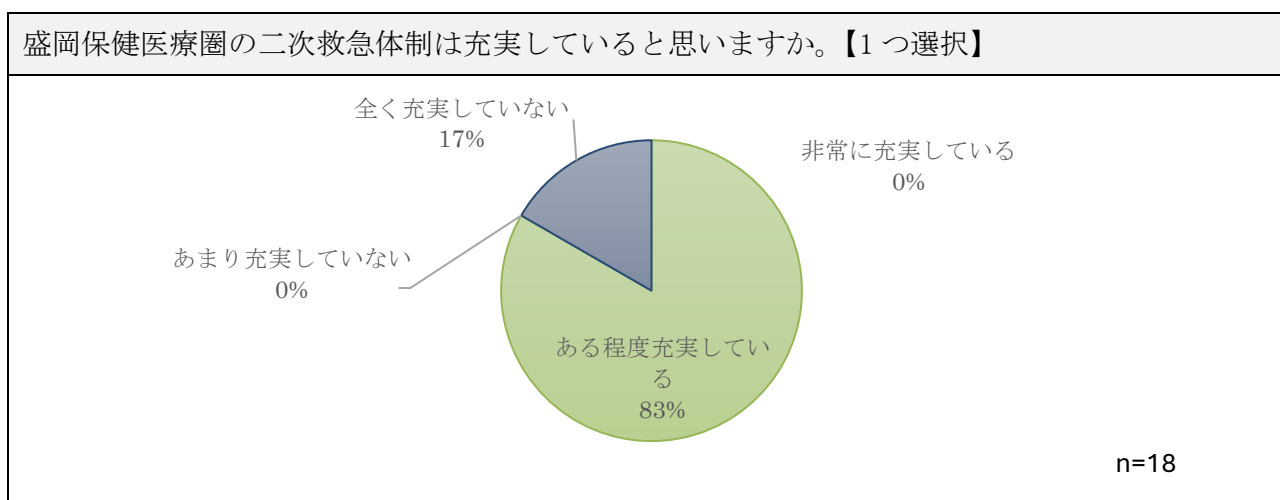
- ・医療で言えば、急性患者、慢性患者は同一ではない。当院では急性、慢性も含めて対応しているが、受け入れ先の紹介や先生の確保は非常に困難である。
- ・休日当番医制度をしっかりと行いたい。市内に産科、他科があればよい。医療機関の偏在を感じる。
- ・医師の高齢化が問題である。
- ・総合病院があり、ある程度市内で完結できる医療体制が必要である。
- ・休日診療所の設置が必要。
- ・医師会の立て直しが必要。医師の要望を受け入れすぎている。もっと市民の要望も聞いて欲しい。
- ・看取り体制の確立が必要と考える。
- ・盛岡市との連携が必要。

(3) 滝沢市の初期救急体制の充実度



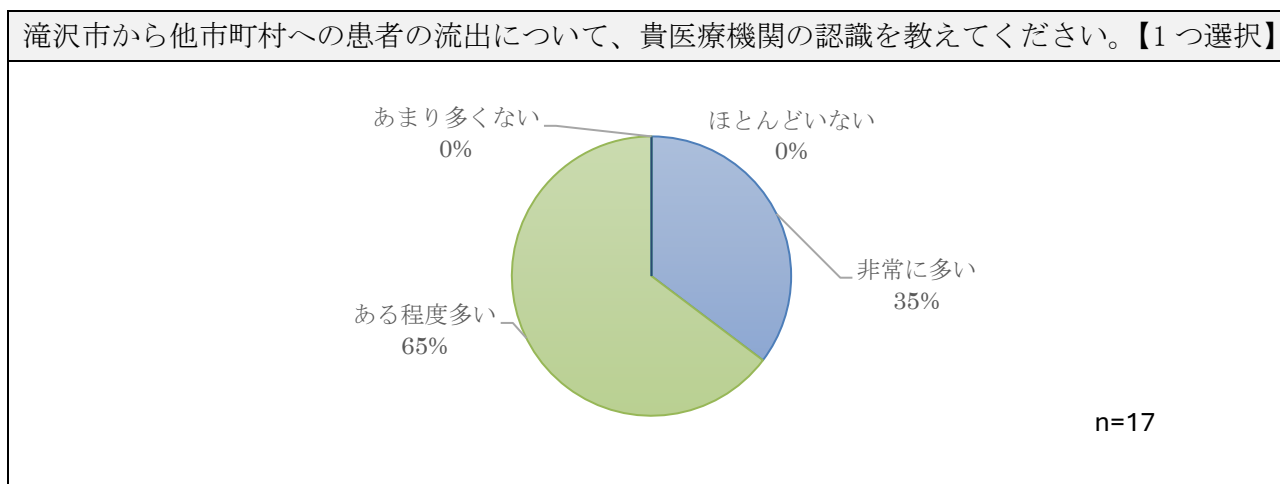
滝沢市の初期救急体制の充実度について尋ねたところ、非常に充実している、あるいはある程度充実していると回答した医療機関はありませんでした。一方、あまり充実していないが59%、全く充実していないが41%となり、初期救急体制については、全医療機関が厳しい評価をしていることがわかります。

(4) 盛岡保健医療圏の二次救急体制の評価



滝沢市内の初期救急体制の評価とは対照的に、盛岡保健医療圏の二次救急体制は83%の医療機関がある程度充実しているとの回答でした。一方、全く充実していないとの回答も17%ありました。

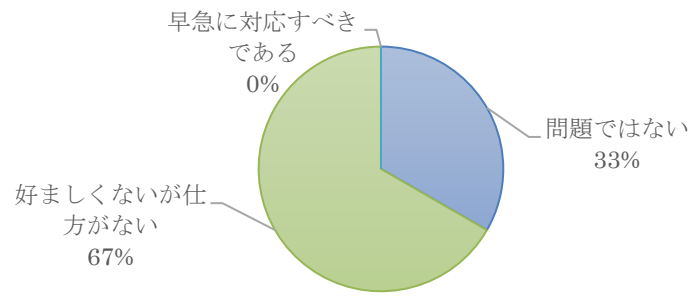
(5) 他市町村への患者の流出について



滝沢市から他市町村への患者の流出についてどう考えているかを尋ねたところ、多くない、あるいはほとんどないと認識している医療機関はありませんでした。ある程度多いと考えている医療機関は65%で、非常に多いと捉えている医療機関は35%に上りました。

(6) 患者の流出についての考え

他市町村への患者の流出について、貴医療機関ではどのように考えていますか。【1つ選択】



早急に対応すべきとの回答はありませんでした。問題ではないとの回答は33%であり、残りの67%は好ましくはないが仕方がないとの回答になりました。

(7) 診療科の偏りや有床病院の偏在

本市における、医療機関の診療科の偏り、有床病院の偏在などについて、どのようにお考えですか
【自由回答】

診療科や病院の偏りがある。

診療科が偏っていると感じたことはない。

盛岡に近いので診療科の偏りは仕方ない。経過を観察したり精査を依頼できる有床病院が必要
有床病院の充実が必要

小児科についてはどうにか3医院確保できている。そして、2次病院も中央病院、医療センターなどが近くにあり、また受け入れ体制もよく、助かっている

産婦人科は必要と思う。

行政の問題と考えている。

現状問題ない。

診療科については、改善されてきている。

小児科、婦人科、精神科領域の誘致が必要。

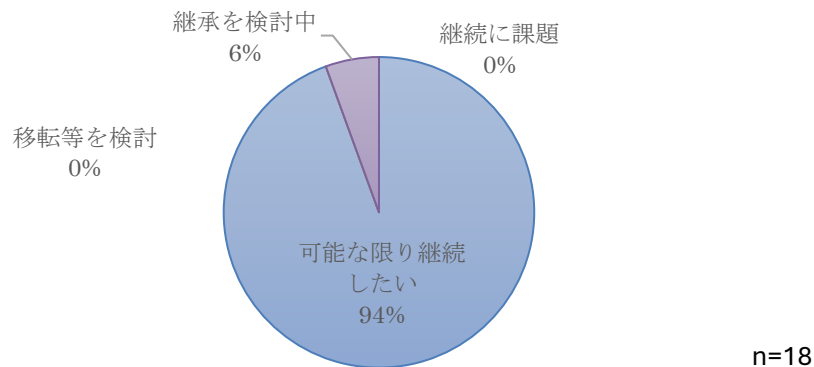
盛岡市への依存。

無回答（7医療機関）

診療科の偏りや有床病院の偏在については、意見が分かれる結果になりました。偏りがなく、改善されている、小児科は確保できた、または盛岡が近いので仕方ないといった意見が5件、産科、婦人科、小児科、精神科等が必要との意見や有床病院が必要との意見が2件ずつありました。また、（偏りは）行政の問題との意見も1件ありました。無回答が7件あったのも特徴的と言えます。

(8) 今後の経営継続意向

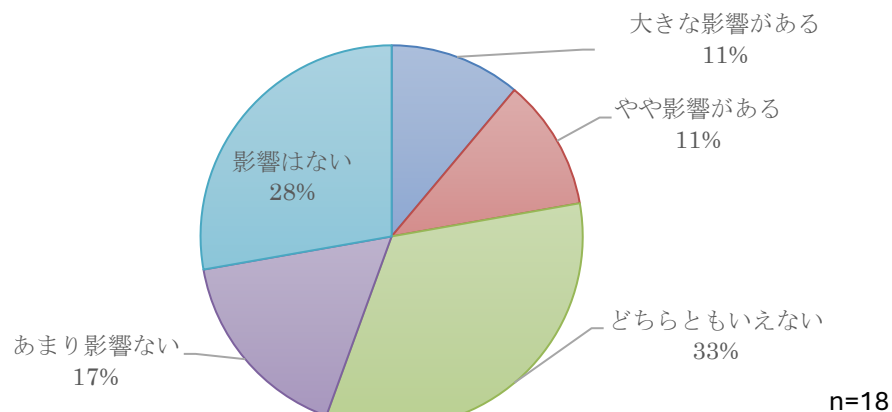
あなたは今後も滝沢市内で診療所又は病院の経営を続けたいと考えますか。【1つ選択】



今後も経営を続けるかとの問いには、94%の医療機関が可能な限り続けたいと回答しています。

(9) 基幹病院開業の影響

滝沢市内に地域医療支援病院等の基幹病院が新規に開業した場合、貴医療機関の経営に影響を及ぼすと考えますか。【1つ選択】



大きな、あるいはやや影響があると回答した割合は22%にとどまり、あまり影響はない、又は影響がないとの回答は45%でした。また、33%の医療機関はどちらともいえないとの回答でした。

(10) 基幹病院新設のメリット・デメリット

滝沢市内に地域医療支援病院等の基幹病院が新規に開業した場合、貴医療機関に与えるメリット・デメリットとして考えられることはなんですか。【自由回答】

予約は待たされるし、急患を受け付けない。紹介も受け入れないなら不要。

市内で紹介、逆紹介のやり取りが可能となり、患者さんの通院ストレスが軽減する。デメリットとして、最初から基幹病院を受診される方が増えることが予想される

患者さんの紹介が可能であればメリットがある

メリット大いにあり／お互い助け合えると思う／何も支障なく歓迎したい／大変素晴らしいことと考えます

地域の方にとっても安心感があり、人口減少を止める一つにもなる。今までのかかりつけ医が変わってしまい、基幹病院に偏ってしまう可能性がある。
患者の病気の種類によりお互いに軽症、中程度、重傷を棲み分けるようにして欲しい
患者数の減少
メリット：紹介が容易、デメリット：なし
紹介できればありがたい／連携したい
特になし・無回答（5 医療機関）

患者の紹介等の連携や、重症度による棲み分け、近隣にあることによる安心感などのメリットを指摘する肯定的な意見が 11 件と 61% を占めました。一方、予約が待たされる、紹介を受け付けない、基幹病院に偏るなどのデメリットの可能性を指摘する意見も 4 件（22%）ありました。

（１１）医療体制に関する市への期待

滝沢市内の医療体制の充実に向けて市に期待することがあれば教えてください【自由回答】
休日当番医の補助が 5,000 円では事務員の給与にもならない。盛岡には 100 人以上の当番医。どこかが受け入れる体制にできないのか。15,000 円程度の補助を。
医師、看護師の確保。健康診断検診（二次）を市内で受けることを奨励して欲しい。
西北医師会と仲良くしてください。
各クリニックの事情が違うので、期待できない。
継続のための補助金等支援体制を希望します。
市民の医療をある程度滝沢市で完結できるようにすべきと考えます。
休日診療所の設置。
もっと強くなってください。
とにかく早く日赤を誘致していただきたい。
基幹病院ができるには、医師や医療従事者のなどの確保が必要。盛岡との連携。
回復期、慢性期受け入れ施設が 1 か所しかない、社会的入院（行き場がない）釜石市のような地域医療連携推進法人必要
特になし・無回答（8 件）

市に期待することについては、様々な意見が寄せられました。休日当番医の補助の拡充や、休日診療所の設置、のほか、医療継続のための補助金を要望する意見もありました。他にも、二次健康診断を市内で受けるよう奨励して欲しい、市民の医療を市内で完結するようにして欲しい、医療従事者の確保や盛岡市との連携、日赤の誘致、地域医療連携推進法人の設置を求める意見もありました。一方、期待できないとの意見が 1 件あり、特になし、無回答が合計 8 件となりました。

第4章 調査結果から見える本市の地域医療の現況

1 市民アンケート調査結果から見える市民の行動・考え

(1) 医療機関受診動向

- ・ 滝沢市民が1年間に医療機関を受診した回数は、最多が2回から5回でした。受診回数は世代によって異なり、16回以上受診した方は50歳以上が多数を占めており、高齢者の受診ニーズが高いことが示されています。
- ・ 受診した診療科では内科が44%と最も多く、整形外科、眼科、循環器科が続きました。最もよく受診した医療機関のある地域では、最も多かった回答が59%を占める盛岡市で、滝沢市内は35%に留まっています。地域別での分析でも盛岡市で受診した方がどの地域でも最多となり、年齢別の分析でも傾向に大きな変化はありませんでした。
- ・ 受診した診療機関を選んだ理由は、かかりつけ医だから、自宅に近いからとの2つの理由が多く、通院方法では、自分又は家族が車を運転するという回答が85%を占め、公共交通機関やタクシーなどを利用するケースは少数であることがわかりました。通院に要する時間は往復1時間以内が多数を占めています。
- ・ 以上から、かかりつけ医は滝沢市内に限定することなく、車で通院できる範囲で決めていると推測されること、隣接の盛岡市には医療機関が多く、診療科目も医療機能も多様なため、それほど不便を感じることなく希望により選択できる環境にあるということも示唆されます。
- ・ 医療機関受診に係る市民の考えとしては、本市は盛岡に隣接し、盛岡市の医療機関へのアクセスが良いことから、車を利用できる市民の多くは、必ずしも滝沢市内の医療機関を選択する必要はなく、盛岡市の医療機関をかかりつけ医、又は最も通院する頻度の高い医療機関として選択しているということが考察されます。

(2) 医療環境に関する市民の意識

- ・ かかりつけ医の有無については、かかりつけ医がいる方が48%、いない方が50%との結果になりました。本来のかかりつけ医の役割としては、どんな場合でもまずは相談を受け、そこから必要に応じて専門医や救急病院などに繋ぐという役割が期待されますが、そのような役割への期待に加え、受診しやすい環境（通いやすい、予約が取りやすい、待ち時間が少ない）や、説明が

丁寧であること、親身な対応を求めていること、病状に合わせた処方など、多様な役割を期待している現状がわかりました。

- ・救急時等の相談・対応先の認知度については、滝沢市の休日当番医の認知度がトップであり、何らかの相談先、受診先を知っている方の割合は、80%を超えています。
- ・休日に受診が必要になった際の対応については、64%の方が自分又は家族の運転で救急医療機関に行くとの回答で、受診先については過半数が盛岡市内の医療機関と回答し、滝沢市内と回答した方は17%と低い結果でした。休日や救急時であっても、医療機能が整っていて、休日や救急時にも対応可能な盛岡市の医療機関を受診したいとの市民の意識が伺えます。
- ・子ども（乳幼児から中学生まで）の受診について、主に受診した医療機関の場所は、約半数の子ども（乳幼児：49%、小学生：44%、中学生：56%）は、滝沢市内の医療機関を受診するとの回答となり、大人の受診動向とは異なる傾向があることが示唆されました。
- ・高度な医療を受ける場合の入院希望場所については、盛岡市内の医療機関が70%と非常に高い結果になりました。これは、盛岡市内にそのような機能が備わっている医療機関が多いという現状を示しているものともいえる一方、本市にはそのような機能を有している病院が少ないということも理由として考えられます。また、回復期やリハビリの際の入院や通院先については、盛岡市内の医療機関を希望する方は31%に減少し、滝沢市内の医療機関を希望するとの回答と同程度になりました。急性期を経て、安定した病状になった場合には、居住地域から近くて本人や家族も通いやすい医療機関を利用したいとの希望が反映したものと考えられます。

（３）介護、看取り、終末期について

- ・全体の34%の方が、自宅での介護や看取りの経験があるとの回答でした。不安を感じたこと（経験がなくても感じると予想されることも含む。）は、身体的・精神的な不安が最も多く、収入面、サポート面での不安感も高い様子が伺えます。
- ・自身が終末期に過ごす場所の希望については、は自宅（30%）と病院（22%）に分かれ、介護施設等（9%）と続く一方、最も多かったのは、わからないとの回答であり、年代によっても異なりますが、一定程度の方が、終末期を過ごす場所の具体的なイメージを持っていないことが示唆されました。

（４）滝沢市の医療に対する満足度、望まれる診療や医療体制

- ・ 滝沢市内の医療に対する総合的な満足度については、とても満足とやや満足を合わせても26%であり、逆にとても不満とやや不満を合わせた数値も25%と同程度となりました。最も多かった回答は、どちらともいえないの48%でした。どちらともいえないとの回答割合も含めて、決して満足はしていないが、大きな不満があるわけでもないという考えの市民が一定程度を占めていると考えられます。
- ・ 自宅から日常的に通える範囲内の医療に対する満足度では、とても満足とやや満足を合わせて46%と半数近くになっています。一方、とても不満とやや不満を合わせた回答は20%にとどまりました。また、どちらともいえないも34%でした。以上の結果から、滝沢市の医療に対する満足度に比べ、盛岡市内など近隣自治体の医療機関が提供する医療も含めた満足度は高いということが示されました。
- ・ 滝沢市内で充実を希望する診療科については、内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、循環器科、整形外科、眼科、産婦人科、小児科、外科と続きました。通院した診療科で内科は44%と最多でしたが、充実して欲しい診療科の設問では、34%へと減少し、皮膚科をはじめ、頻繁に受診している診療科目とは異なる診療科目に対するニーズが高いことがわかりました。また、若い世代層を中心に、産婦人科と小児科を合わせると24%の方の希望がありました。
- ・ 将来の滝沢市内の医療に対する不安についての問いでは、不安であるとやや不安であるとの回答は、合わせて49%と、約半数を占めました。対して、不安はない、あまり不安はないは17%と明らかな違いが見られました。不安とを感じる項目については、救急時の医師の存在、重病時に診療可能か、という回答が合わせて69%となり、続いて交通手段、医療従事者の高齢化、近隣の医師の廃業などと続きました。また少数ですが、子どもの適切な医療、安心して出産できるか、救急時に時間を要すること、希望の場所で最後を迎えられるか、といった回答も見られました。
- ・ 以上の結果から、約半数の市民は滝沢市の医療環境に不安を抱えており、その内容は救急時や重病の際にきちんと医師に対応してもらえるのか、救急時に時間を要するといった不安が大きいことが伺えます。また、交通手段の問題、医師の高齢化、近隣の医療機関の廃業、子どもの医療、安心の出産などに対しても不安を感じている方も一定数います。市民の不安感をまとめると、救急時や高度医療を必要とする重病時の対応が市内の医療機関では不安であること、交通の利便性が低下し通院できなくなる不安、子どもを産み育てる環境が保たれるのかなどといった不安を感じ

じていることが伺えます。

- ・滝沢市が今後目指すべき地域医療体制に関する質問では、身近なクリニック、診療所等が充実した医療体制の構築と答えた方が39%であり、訪問診療やオンライン診療の充実による受診しやすい医療体制の充実と答えた方の11%と合わせると、全体の半数の50%の方が、住居の近くで、あるいは在宅で受診しやすい環境が整うことを望んでいます。地域医療支援病院などの基幹となる病院を中心とする医療体制を望むと回答した方は35%でした。
- ・今後の滝沢市内の医療について、必要と考える対策については、日常的な医療の充実、救急医療、休日・夜間医療、専門的医療、医師・看護師確保となり、診療所の充実、在宅・訪問診療の拡充などにより、身近なかかりつけ医による安心した医療が受けられる環境を求めていると考えられます。また、他の設問でも回答されていますが、救急体制（病院、センター）、休日夜間医療体制、専門医による医療、交通アクセスの充実、介護予防や高齢者（認知症含む）支援なども求められています。
- ・今後の地域医療の在り方についての自由意見では、必要な医療施設や診療科としては、総合病院を求める意見が多く、続いて救急センター、産婦人科、小児科、専門病院、総合診療科と続きます。また、施設以外の意見としては、交通手段の充実と医療者の対応、信頼度の向上というものが多く、続いて、夜間・休日診療、オンライン予約（待ち時間短縮）、訪問診療・看護の充実に向けた意見がありました。

2 市内医療機関との意見交換、書面調査結果から見える考え等

（1）市内医療機関の現況

- ・抱える課題として、最も多い回答は、患者数の減少でした。また、現在、患者が在宅で受診可能な診療を行っている医療機関は2つのみということがわかりました。
- ・医療機関のスタッフは、特に医師と看護師の高齢化が認められ、スタッフ不足の医療機関も少なくないことがわかりました。スタッフ不足とともに、後継者不足との声もあり、医療機関の世代交代が課題となっていることが示唆されます。
- ・医療DX推進や施設・設備刷新で課題を抱えている医療機関もあり、公的な支援を求める声も上がっています。経営についても、将来に不安を感じている医療機関が59%を占めています。

- ・訪問診療、往診、オンライン診療、訪問看護、在宅緩和ケアといった、従来の通院や入院といった診療形態以外の在宅を中心とした医療に対する取組については5つとも実施している医療機関は1医療機関にとどまりました。
- ・今後実施予定については、オンライン診療を検討している医療機関が5つありましたが、他の4項目については、3機関が実施予定との回答であり、多くの医療機関では、今後も実施予定はないとの結果でした。
- ・導入しない理由について、最も多かった回答は、人手が足りないというものでした。また、オンライン診療に関しては、診療内容にそぐわないとの回答が多く、また、他の診療でも同じ答えが2番目に多いとの結果になりました。さらには、採算が取れない、必要性を感じないとの回答もあり、市民のニーズと医療機関の意向の間に差異がある可能性も浮かびあがります。反対に、需要面、採算面、人材面の課題が解消された場合、実施を検討する医療機関が増えることも考えられることから、個々の医療機関の枠組みを超えた連携による体制づくりなども視野に、市の支援策を検討する必要があると考えられます。

(2) 今後の滝沢市の地域医療に対する考え

- ・滝沢市が取り組むべき重要な医療テーマに関する考えについては、介護や福祉と連携して環境整備が最多であり、市内の医療機関の連携、人材確保で地域医療を維持・持続がそれに続き、産科、小児科を備え、魅力的なまちに、という意見もありました。市民の意見でも挙がっていた、産科・小児科の充実については合致しており、介護・福祉連携は地域包括ケアとの観点では、今後の在宅介護、医療の方向性に沿ったものであると考えられます。また、医療機関の連携は、夜間休日診療を求める市民の声に応えるものでもあり、また、在宅診療・看護、オンライン、緩和ケアなど遅れをとっている項目を共同で実現するためには不可欠と考えられます。また、人材不足を課題として捉えている医療機関は多く、医療従事者が地域に定着する仕組みを検討する必要があると考えられます。
- ・滝沢市内の初期救急体制は充実しているかとの問いには、59%の医療機関が充実していないと回答しました。一方、盛岡保健医療圏では、二次救急体制は充実しているとの回答が83%でした。ただ、残りの17%は全く充実していないと回答しており、一定の課題の存在が示唆されました。

- ・滝沢市から他市町村への患者の流出についての認識では、全ての回答が非常に多い、またはある程度多いとの認識でした。患者の流出についての課題感は、好ましくないが仕方がないが67%を占め、残り33%は問題ではないとの回答でした。
- ・以上から、滝沢市内の救急医療の充実度としては低いものの盛岡保健医療圏の救急が充実していることから切迫した状況と捉えていないこと、また、患者の多くが市外に通院していることについては、多くの医療機関が現状を受け止めていることが示されています。
- ・市内医療機関の診療科の偏りや有床病院の偏在については、偏りはない、仕方ない、現状で問題はない、改善されている、との意見もありましたが、一方で、産婦人科、小児科、精神科が必要、有床病院が必要、診療科や病院の偏りがある、といった改善を求める意見が上回る傾向がありました。また、偏りは行政の問題との意見など、様々な意見がありました。無回答の医療機関も多く、現状を最もよく把握している医療従事者の皆さんと、医療について話し合える場の創出にさらに取り組むことの重要性も暗示している可能性もあると考えられます。
- ・今後の医療機関経営の継続に関しては、大多数の医療機関が可能な限り続けたいと考えています。
- ・地域医療支援病院等の基幹病院が市内に設置された場合の影響について、影響があると回答した割合は22%で、あまり影響がない、影響がないとの回答が45%でした。開業時のメリットとデメリットについては、メリットが大いにある、連携したい、歓迎したい、助け合えるといった肯定的な意見がある一方、紹介などを介した役割分担、棲み分け、患者数の偏り、急患を受け付けるか、といった懸念をする声もありました。全体的には肯定的な意見が多い傾向で、病院開設自体に反対する声はなく、ある程度条件が満たされ協力、連携関係がうまくいくなれば歓迎するとの声が多かったといえます。
- ・滝沢市内の医療体制の充実に向けて市に期待することについては、休日当番医の補助の値上げ、医師、看護師の確保、健診を市内で受診することの奨励、医師会との関係、継続のための補助金、滝沢市内での医療の完結、休日診療所の設置、日赤病院誘致、盛岡市との連携、回復期、慢性期受け入れ施設、地域医療連携推進法人が必要、といった意見が出され、1件は期待できないとの回答でした。

<資料編> 市民アンケート調査結果単純集計表



滝沢市から、市民の皆さんへ

アンケート結果単純集計表

地域医療に関するアンケート調査

へのご協力をお願い

《アンケート調査の趣旨》

日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市では、「すこやかで、心豊かに、自分らしく暮らすことができる」地域社会を目指し、健やかに暮らせる環境づくりの推進に取り組んでいるところです。

そこで、今後の地域医療の在り方に関する市の取組の参考とするため、地域の医療に関することについて、市民の皆さんが日頃どのように行動し、どのように考えているのかをお聞きするためアンケート調査を実施します。

お寄せいただいた回答は、全て個人が特定されないよう統計的に処理されます。また、回答いただいた調査票が公表されたり、調査の目的以外に使用することはありません。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、アンケート調査の趣旨をご理解いただきまして、最後まで漏れなくお答えくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和6年9月 滝沢市長 武田 哲

《調査の対象》

※ このアンケートは、市内在住の18歳以上の方から無作為（世代、地域のみ考慮）に抽出した2,300人の方に無記名形式で回答をお願いしています。

937件の回答(回答率:40.7%)

《回答方法と締切》

1 回答は直接この調査票にご記入いただき、**9月27日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。**（切手は不要です。）**

2 このほか、右の二次元コードからアクセスの上、回答していただくこともできます。その際には、この調査票を郵送いただく必要はありません。
(二次元コードの読み込み後、Googleフォーム上での回答になります。)



《ご回答記入について》

1 このアンケートは、調査票をお送りした封筒に書かれている宛名のご本人が、自分自身の考えや行動などについてにお答えいただくようお願いいたします。（宛名が世帯主の方とは限りません。また、子育て中の保護者の方にお子さんのことについて何う質問も一部あります。）

2 この調査は市民の皆さんが日頃の生活で感じ方や行動を伺うものです。そのため「滝沢市内」など場所を特定している設問以外は、盛岡市などの市外も含めた日常の行動や考え方について回答ください。

3 設問ごとに、選択肢の中からあなたがあてはまると思う項目の番号を○で囲んでください。（複数の項目を選択する設問や、数字などを直接記入する質問もあります。）

(記載例) ☐ 1 そう思う

☐ 2 そう思わない

4 アンケート中「医療機関」は病院又は診療所（クリニック等）として回答ください。

問1 あなたは、最近1年間で何回医療機関を受診しましたか。(〇を1つ)

6.9	0回 →「0回」と回答した方は問7へ	6.4	1回	24.1	2～5回
21.2	6～10回	19.6	11～15回	12.3	16～24回
6.1	25～50回	1.9	51回以上	無回答: 1.4%	

問2 あなたが、最近1年間で最もよく受診した診療科は何ですか。(〇を1つ)

44.0	内科系	1.1	外科系	8.5	整形外科系
2.9	産婦人科系	3.3	耳鼻咽喉科系	3.8	脳神経内科・外科系
4.2	皮膚科系	2.3	泌尿器科系	5.5	眼科系
5.0	循環器科系	0.1	リハビリテーション科系	1.7	精神科系
10.1	その他(具体的に記載ください):				無回答: 7.3%

問3 あなたが、最近1年間で最もよく受診した医療機関は、どの地域にある医療機関ですか。(〇を1つ)

2.6	大釜地域	8.4	鶺鴒地域	12.2	元村地域
11.9	巢子・長根・川前地域	33.9	盛岡市内(滝沢市近隣)	24.9	盛岡市内(「選択肢5」以外)
0.1	八幡平市	0.5	雫石町	0.8	矢巾町
0.6	その他県内市町村	0.7	県外	無回答: 3.4%	

地域が分からない場合は、医療機関名を記入ください。→()

注: 選択肢5の「盛岡市内(滝沢市近隣)」は、自宅から自家用車で概ね15分以内に到着可能な医療機関とします。

問4 問3で回答した医療機関を選ばれた理由は何ですか。(最もよくあてはまると思うものを3つまで〇)

50.9	かかりつけ医だから	40.6	自宅に近いから	17.0	医師や看護師が信頼できる
8.3	診療科や設備が充実している	1.8	夜間や休日に対応している	6.5	交通の便が良い
7.8	他医療機関の紹介	9.7	評判が良い	5.7	職場に近い又は通勤途中にある
5.5	友人や知人の紹介	4.2	予防接種や健康診断が充実	10.9	医療機関や医師の診断実績が豊富又は専門性が高い
0.0	在宅対応(往診又は訪問診療)をしてくれる	8.1	待ち時間が短い	7.0	受診予約が可能である
2.8	その他(具体的に記載ください):				無回答: 1.9%

問5 問3で回答した医療機関への主な交通手段は何ですか。(○を1つ。なお、複数の移動手段がある場合は、移動距離が最も長いもの1つを選択)

72.8	自家用車を自分で運転	11.5	自家用車を家族が運転し送迎	1.4	鉄道
3.2	路線バス	0.1	市の福祉バス・患者輸送バス	1.1	タクシー
1.6	自転車・バイク	6.0	徒歩	0.3	その他

無回答: 1.9%

問6 問3で回答した医療機関について、自宅又は職場のうち近い方からその医療機関までの移動に要する所要時間を教えてください。(分単位で所要時間を記載)

平均16.33分

問7 あなたには、あなたの心身の状態をわかっていて、治療だけでなく日常の健康管理や相談もできる医師(かかりつけ医)がいますか。(○を1つ)

48.1	いる	49.8	いない
------	----	------	-----

無回答: 2.0%

問8 あなたには、かかりつけ医にどのようなことを期待しますか。(最もよくあてはまると思うものを3つまで○)

30.1	どんな病気でもまず診察してくれる	36.6	自分の病歴や健康状態について理解してくれている	40.2	病気や治療についての説明が丁寧である
27.3	親身になって対応してくれる	26.7	必要に応じて適切な専門医を紹介してくれる	13.2	定期健診や検診をしてくれる
13.0	診療技術が優れている	3.4	夜間や休日にも診察してくれる	6.4	生活習慣などの予防に向けたアドバイスをしてくれる
0.4	在宅対応(往診又は訪問診療)をしてくれる	1.3	最後の看取りまで対応してくれる	2.9	こころの不調の相談に乗ってくれる
18.9	予約が取りやすい・待ち時間が少ないなど受診しやすい	17.1	病状にあわせて薬を処方してくれる	4.2	特にない

1.2	その他(具体的に記載ください)
-----	-----------------

無回答: 2.8%

問9 次の救急相談・受診先のうち知っているものを教えてください。(知っているもの全てに○)

65.8	滝沢市内休日当番医	50.9	盛岡市内休日当番医	48.7	盛岡市夜間急患診療所
3.1	県民医療相談センター	8.9	いわて発熱等相談センター	13.2	こども救急相談電話
18.9	いずれも知らない				

【参考:救急相談・受診先について】

名称	日時	電話	備考
滝沢市内休日当番医	日曜日の9時～12時30分	(各医療機関)	広報・HPでお知らせ
盛岡市内休日当番医	日曜日・祝祭日の9時～17時	(各医療機関)	広報・HPでお知らせ
盛岡市夜間急患診療所	19時～23時(年中無休)	019-654-1080	内科・小児科のみ
県民医療相談センター	9時～16時(平日のみ)	019-629-9620	
いわて発熱等相談センター	16時～翌日9時(夜間)	0570-059-333	年末年始は休み
こども救急相談電話	19時～翌日8時(年中無休)	019-605-9000	23時～は「こども夜間ケアダイヤル」

問10 休日にあなたの具合が悪くなり、医療機関を受診したい場合、どのように対応しますか。
(○を1つ)

24.3	自家用車・自転車・徒歩等で、自分で救急医療機関へ向かう	39.9	家族に車を運転してもらって救急医療機関へ向かう
4.2	公共交通やタクシーを利用して救急医療機関へ向かう	3.2	かかりつけ医に連絡して指示に従う
12.3	当番医へ連絡して指示に従う	3.8	救急相談電話等に電話し相談する
8.0	119番に電話して救急車を呼ぶ	1.9	その他

【参考:救急医療機関とは】

無回答:2.3%

事故その他の理由による傷病者のうち、救急隊が緊急に搬送する必要がある方について、収容及び治療を行う医療機関です。盛岡保健医療圏では、現在21医療機関が認定されています。



盛岡保健医療圏(滝沢市・盛岡市・八幡平市・雫石町・岩手町・葛巻町・紫波町・矢巾町)内の救急医療機関

県立中央病院、盛岡赤十字病院、岩手医科大学附属病院、盛岡市立病院、遠山病院、栃内病院、高松病院、盛岡友愛病院、川久保病院、盛岡つなぎ温泉病院、八角病院、荻野病院、内丸病院、松園第二病院、八幡平市立病院、東八幡平病院、栃内第二病院、鶯宿温泉病院、国保葛巻病院、南昌病院、滝沢中央病院

《令和6年3月策定「岩手県保健医療計画」から引用》

問11 休日にあなたや家族の具合が悪くなり、医療機関を受診したい場合、どの地域の医療機関を受診すると思いますか。(○を1つ)

17.2	滝沢市内の医療機関	51.9	盛岡市内の医療機関
0.7	その他の地域の医療機関	28.7	実際の症状に応じてその時考える

無回答:1.5%

問12 中学生までのお子さんがいる保護者の方に伺います。(それ以外の方は問13へ)
お子さんの世代と、そのお子さんが最近1年間で最もよく受診した医療機関の場所を教えてください。
(世代 ⇒ いらっしゃるお子さん全ての世代に○)
(医療機関の場所 ⇒ いらっしゃるお子が最もよく受診した医療機関の場所に1つ○)

※同じ世代に複数のお子さんがある場合は、最も医療機関を受診するお子さんについて回答してください。

7.5	乳幼児	8.4	小学生	4.6	中学生
↓			↓		
乳幼児のお子さんが最もよく受診した医療機関の場所を以下から選択			小学生のお子さんが最もよく受診した医療機関の場所を以下から選択		
48.6	滝沢市内の医療機関	44.3	滝沢市内の医療機関	55.8	滝沢市内の医療機関
42.9	盛岡市内の医療機関	46.8	盛岡市内の医療機関	27.9	盛岡市内の医療機関
4.3	その他の地域の医療機関	5.1	その他の地域の医療機関	4.7	その他の地域の医療機関
4.3	最近1年間の受診なし	3.8	最近1年間の受診なし	11.6	最近1年間の受診なし

問13 救急救命や集中治療など、特に高度な医療が必要になった場合、あなたはどの地域の医療機関に入院したいですか。(○を1つ)

4.4	滝沢市内の医療機関	70.4	盛岡市内の医療機関
1.6	その他の地域の医療機関	22.5	実際の症状に応じてその時考える

無回答: 1. 1%

問14 病状が安定し、退院に向けた治療やリハビリを行う場合には、あなたはどの地域の医療機関に入院又は受診したいですか。(○を1つ)

32.2	滝沢市内の医療機関	31.1	盛岡市内の医療機関
0.3	その他の地域の医療機関	35.1	実際の症状に応じてその時考える

無回答: 1. 3%

問15 自宅で家族・親族を介護した経験や看取った経験はありますか。(○を1つ)

13.2	介護も看取りも経験がある	13.7	介護は経験があるが、看取りは経験がない
7.3	介護は経験がないが、看取りは経験がある	63.6	介護も看取りも経験がない

無回答: 2. 2%

問16 自宅での介護や看病において不満を感じたこと、または、そのような状況を想定した場合に不安に感じることを教えてください(最もよくあてはまると思うもの2つまで○)

48.6	介護疲れや看病疲れによって、自身も体調を崩してしまう	7.5	看取りの後、精神的に不安になること	6.4	医師や看護師のサポートが不十分であること
4.6	介護職(ケアマネや介護福祉士)のサポートが不十分であること	5.1	家族や親族のサポートが不十分であること	23.7	自分の仕事が制約されることによる収入減少等の経済的負担
11.5	介護や看病の対象者の収入の減少等の経済的負担	20.4	介護や看護をするため体力面での不安	29.9	どのような支援制度やサポートがあるのかわからない
1.0	その他(具体的に記載ください)				

無回答: 10.5%

問17 終末期を迎える場所について、あなたの希望を教えてください。(○を1つ)

30.0	自宅	21.9	病院	9.5	介護施設・老人ホーム等
36.8	わからない				

無回答: 1. 8%

問18 現在の滝沢市内の医療に対する総合的な満足度を教えてください。(○を1つ)

2.6	とても満足	23.4	やや満足	47.9	どちらともいえない
17.3	やや不満	7.7	とても不満		

無回答: 1. 2%

問19 現在の、自宅から日常的に通える範囲内の医療に対する総合的な満足度を教えてください。(○を1つ)

7.4	とても満足	38.8	やや満足	33.6	どちらともいえない
13.6	やや不満	5.8	とても不満		

無回答: 0. 9%

問20 滝沢市内で充実して欲しい診療科を教えてください。(最もよくあてはまると思うもの2つまで○)

34.0	内科系	8.6	外科系	11.0	小児科系
12.6	産婦人科系	16.9	耳鼻咽喉科系	13.6	整形外科系
20.1	皮膚科系	4.6	泌尿器科系	14.0	眼科系
13.8	循環器科系	6.3	リハビリテーション科系	4.8	精神科系
4.7	その他(具体的に記載ください:)				

無回答: 5. 4%

問21 近い将来(10年後程度)の滝沢市内の医療に関する不安感についてあなたのお考えを教えてください。(○を1つ)

4.6	不安は無い	12.5	あまり不安は無い	22.0	どちらともいえない
26.6	やや不安である	21.9	不安である	10.0	わからない

無回答: 2. 5%

問22 問21で、「1 不安は無い」以外の回答をした方に伺います。将来の滝沢市内の医療について不安と覚えることは何ですか。(最もよくあてはまると思うもの2つまで○)

18.6	医療機関への交通手段	41.6	急病時にすぐ診察可能な医師がいるか	27.1	重い病気の場合に診察可能な医師がいるか
10.6	近隣の医療機関が廃業してしまわないか	3.0	分娩施設がないため安心して出産ができない	5.8	子どもが適切な医療を受けられるか
11.9	医療従事者が高齢化しており、地域医療が維持できるか	4.9	自身が希望する場所で最期を迎えられるか	4.7	医療機関の移転・集約により救急時に時間を要する
11.2	はっきりとはしないが漠然とした不安がある	1.7	その他(具体的に記載:)		

問23 滝沢市が、今後目指すべき滝沢市内の地域医療体制について、あなたはどのように考えますか。(○を1つ)

38.7	身近なクリニック、診療所等が充実した医療体制の構築	11.2	訪問診療やオンライン診療の充実による受診しやすい医療体制の構築	34.9	地域医療支援病院※などの基幹となる病院を中心とした医療体制の構築
12.0	わからない				

無回答: 3. 2%

【※参考: 地域医療支援病院とは】

他の医療機関から紹介された患者に対する医療の提供を主としており、「救急医療の提供」、「200床以上の病床保有」、「地域医療従事者に対する研修の実施」等の要件を満たし、県知事の承認を受けた医療機関。岩手県内では、現在6つの医療機関が承認を受けており、うち盛岡保健医療圏内では岩手県立中央病院及び盛岡赤十字病院の2つの医療機関が承認を受けています。

問24 滝沢市内の医療について、今後どのような対策を充実させるべきだと思いますか。(最もよくあてはまると思うもの2つまで○)

29.5	日常的な医療	27.3	救急医療	21.1	休日・夜間診療
3.3	周産期医療	6.5	小児医療	15.8	がん・脳卒中・心筋梗塞等の専門的な医療
3.5	慢性疾患など治療が長期にわたる医療	9.8	在宅医療・訪問看護	3.5	オンライン診療
14.1	医師・看護師の確保	3.8	医療に関する情報提供	7.7	認知症等の対策
3.6	患者の家族に対するサポート	12.8	医療機関への交通手段の確保	10.5	介護予防や高齢者への支援体制の構築
0.5	その他(具体的に記載ください:)				

無回答: 4. 2%

問25 今後の地域医療の在り方について、御意見があれば記載ください。

回答者のあった937人のうち、234人(25. 1%)の方から記載がありました。

問26 あなたの年齢と居住地域について伺います。(それぞれ○を1つ)

(1) 年齢

11.3	18歳～34歳	18.8	35歳～49歳	25.9	50歳～64歳
24.9	65歳～74歳	18.6	75歳以上		

無回答: 0. 5%

(2) 居住地域

11.7	小岩井・大釜・篠木・大沢	20.8	鶴飼	2.7	姥屋敷・柳沢
33.7	元村	26.5	巣子・長根・川前	3.0	一本木

無回答: 1. 6%

地域区分が分からない方は、お住いの地名、団地名等を記入ください。→(

御多忙の折、アンケート調査にご協力くださりありがとうございました。
 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、9月27日までにご投函ください。(切手不要)
 アンケート調査結果は、令和7年3月を目途に市ホームページで公表する予定です。
 なお、返信用封筒に記載されている番号(「414」「180」・バーコード等)は、郵便局内整理に用いるものであり、送付した2,300通全てに同じ番号が記載されているもので、回答者等を特定するものではありませんことを申し添えます。

＜アンケートに関するご質問等がございましたら、下記までお問い合わせください。＞

〒020-0692 滝沢市中鶴飼55番地 滝沢市役所 企画総務部 企画政策課
 電話: 019-656-6561(直通) / FAX: 019-684-1517 / メール: kikaku@city.takizawa.iwate.jp

滝沢市地域医療に関する現況調査

(市民・医療機関向け調査)

調査結果報告書

発 行 滝沢市企画総務部企画政策課
所在地 岩手県滝沢市中鶴飼55番地
電 話 019-656-6561 (直通)
メール kikaku@city.takizawa.iwate.jp